



横浜市

令和7年度

事業概要

みどり環境局

目次

I 令和7年度みどり環境局運営方針について	1
II 令和7年度みどり環境局における主な事業	
■ 総合環境政策	4
■ みどり	5
■ 公園	8
■ 農業	12
■ 環境保全	14
III 各会計別予算	16
■ 一般会計	18
■ みどり保全創造事業費会計	36

令和7年度の予算規模

区分	令和7年度	令和6年度	増△減額	増減率
一般会計	364 億 7,763 万円	372 億 48 万円	△7 億 2,284 万円	△1.9%
9款 みどり環境費	329 億 994 万円	336 億 41 万円	△6 億 9,047 万円	△2.1%
19款 諸支出金	35 億 6,769 万円	36 億 6 万円	△3,237 万円	△0.9%
みどり保全創造事業費会計	126 億 7,943 万円	108 億 5,941 万円	18 億 2,002 万円	16.8%

純計*	455 億 8,938 万円	444 億 5,982 万円	11 億 2,956 万円	2.5%
-----	----------------	----------------	---------------	------

* 一般会計のうち、みどり保全創造事業費会計繰出金を除きます。

・項目ごとに四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります。

I 令和7年度みどり環境局運営方針について

1 基本目標

「豊かな水・みどり環境」「快適な生活環境」を未来へ
～まちの魅力や地域の活力を高め、誰もが心地よく暮らせるまちづくりを進めます～

2 目標達成に向けた考え方

約2,700か所ある公園の維持管理をはじめ、横浜みどりアップ計画によるみどりを守り育む取組、身近な農景観の保全や農業振興、大気等の良好な生活環境の保全といった市民生活の基盤となる取組を着実に進めます。さらに、住みたい・住み続けたい・子育てしたいまちの実現に向け、誰もが快適に過ごせる公園の整備や修繕、民間企業等と連携した公園の更なる活用、気軽に楽しめる農体験の推進、GREEN×EXPO 2027につながる花と緑の取組の拡充を一層進めます。

3 目標達成に向けた施策

総合環境政策

① 環境政策の総合調整等

みどり

- ② 市民とともに次世代につなぐ森を育む取組
- ③ 市民が実感できる緑や花をつくる取組
- ④ 「横浜みどりアップ計画」広報
- ⑤ ガーデンネックレス横浜の取組
- ⑥ 全国都市緑化祭の開催準備

公園

- ⑦ 公園の維持管理・運営、整備
- ⑧ 動物園等の管理運営

農業

- ⑨ 持続できる都市農業の推進
- ⑩ 市民が身近に農を感じる場をつくる取組

環境保全

- ⑪ 大規模事業における環境負荷の低減
- ⑫ 良好な大気・音・水・土壤環境の確保
- ⑬ 身近な生活環境の保全

各事業内容については、4ページ以降の「II 令和7年度みどり環境局における主な事業」に記載しています。

4 みどり環境局事業の主なポイント

(1) みどりや公園を生かしたまちの魅力づくり

- ・レクリエーションや子育て、健康づくり等の場でもある公園において、安心して利用ができるよう、施設の維持管理や修繕、改良を着実に進めます。さらに、インクルーシブな視点も踏まえた公園の整備や、災害時でも利用しやすい公園トイレの洋式化などに取り組み、快適な公園づくりを進めます。
- ・周辺のまちづくりと連携しながら、山下公園の魅力向上や大通り公園、野毛山動物園のリニューアルを進めます。
- ・4期目となる「横浜みどりアップ計画〔2024-2028〕」を着実に進め、市内に残る樹林地の保全や市民の皆様が実感できる緑や花の創出、育成等により豊かな水・みどり環境の実現を目指します。
- ・脱炭素化に向けた公園施設のLED化を促進します。



小柴自然公園



計画中のふれあいパークゾーン
(野毛山動物園リニューアルプランより)

(2) GREEN×EXPO 2027 開催に向けた取組

- ・「GREEN×EXPO 2027」での公園愛護会等の市民力の発揮に向けた検討を進めるとともに、公園愛護会等の技術力向上、活動の普及啓発を一層進めます。
- ・「横浜フラワー＆ガーデンフェスティバル 2025」を開催し、子どもから大人まで多くの方々に花や緑の魅力、環境を感じていただくとともに、「GREEN×EXPO 2027」への期待感を高めていきます。また、インバウンドの方々の来場につなげる取組を進めます。



公園愛護会活動の様子
(花壇管理)



横浜フラワー＆ガーデン
フェスティバル 2025



農体験の様子

(3) 活力ある都市農業の推進

- ・新鮮な農畜産物の供給、良好な農景観の形成、生物多様性の保全、防災、農体験や学習の場などの農地が持つ多面的機能が発揮されるよう、かんがい施設等の生産基盤の整備支援を進めます。
- ・横浜市の豊かな都市農業の恵みを市民生活の中で感じてもらえるよう、子育て世帯を中心に気軽に農体験ができる環境づくりを進めます。



環境保全プロモーションの動画

(4) 良好的な生活環境の保全

- ・大気・水環境の常時監視システムについて、デジタル化による効率的な維持管理等を行うことにより、適切な環境情報の把握と発信を進めます。
- ・環境汚染の未然防止等に向けて環境保全対策を発信する等、市民や事業者に一層の関心を持っていただくプロモーションを展開するとともに、市民団体等と連携した水環境調査や民間企業等と連携した豊かな海づくりに取り組みます。

5 各区土木事務所との取組

市民の皆様が安全に、また安心して暮らしていただくため、身近な公園の管理等を各区土木事務所と一体となって取り組みます。

- ① 公園の日常的な維持管理
- ② 公園再整備、施設改良
- ③ 地域に根差した特色ある公園づくり
- ④ 公園愛護会の活動支援
- ⑤ 街路樹の育成・維持管理
- ⑥ タブレット端末活用による現場業務の効率化

※取組内容については、11ページのコラムに記載しています。

6 目標達成に向けた組織運営

豊かな水・みどり環境、快適な生活環境を未来へつなぐため、「市民目線」「スピード感」「全体最適」を重視し、みどり環境局職員、みどり環境施策に従事する土木事務所職員が一丸となって施策に取り組みます。

(1)信頼と責任のある業務遂行と協働・共創の推進

- ・限られた資源の中で多様化・複雑化する課題に対応し、市民の皆様の満足度を高めていくために、関係局と連携とともに、地域、企業、団体等、様々な主体との協働や共創を推進します。
- ・常に施策・事業の目的を意識した見直しや改善を行い、時代の変化や複雑化する社会のニーズに「市民目線」と「スピード感」を持って対応します。
- ・これまでの施策により蓄積されたデータを活用し、「全体最適」の視点で必要かつ効果的な政策を実施します。
- ・工事安全管理に関する研修を継続的に行い、職員の安全管理の意識向上を推進します。

(2)全ての職員が意欲と能力を発揮できる組織づくり

- ・デジタルツールの活用等を通じたコミュニケーションの活性化により、多様な意見や、新たなチャレンジが生まれやすい、心理的安全性が高い組織風土を目指します。
- ・先を見据えて考え、主体的に行動する姿勢で施策に取り組みます。
- ・職位や年齢、性別、経験等にかかわらず互いを尊重し、強みを生かすことのできる環境をつくります。

(3)多様なワークスタイルの推進

- ・全ての職員がいきいきと働き、意欲と能力を最大限発揮できる職場環境づくりを進めるため、DXを取り入れた業務の効率化やテレワーク、フレックスタイム制度の活用等により、ワークライフバランスを推進します。

II 令和7年度みどり環境局における主な事業

- ・新規事業(○)：事業の新設や新たな取組の開始など、新たな要素を含むもの(事業の一部であるものも含む)
- ・拡充事業(☆)：実施個所数の増や単価の引き上げなど、事業を拡充するもの(事業の一部であるものも含む)
- ・事業費の後ろには、前年度の事業費を括弧書きで示しています。
- ・前年度事業費の後ろには、「III 各会計別予算」における掲載ページを示しています。

■総合環境政策

市民生活や事業活動の基盤となる生活環境の保全、みどり・農の保全・活用、生物多様性などの施策を総合的かつ計画的に進め、自然豊かな都市環境の実現を目指します。

1 環境政策の総合調整等

(1) 環境政策の総合調整

4,050万円 (3,101万円) [P22]

横浜市環境管理計画、横浜市水と緑の基本計画、横浜みどりアップ計画を総合的に推進します。各計画の取組状況は、環境に関する市民意識調査の結果等も踏まえ、報告書としてとりまとめ、環境創造審議会等での調査・審議を経て、公表します。

(2) 生物多様性の普及啓発

2,902万円 (3,677万円) [P26]

生物多様性への理解や環境行動の促進のため、環境教育出前講座の実施や、市民団体・企業・学校等の表彰による環境活動支援など、様々な企業・関係機関等との連携により普及啓発を実施します。

また、外来生物を含め野生鳥獣による生活被害等に対して、捕獲や回収などの対策を実施します。



環境教育出前講座
「ビオトープで小さな生態系を感じてみよう」

(3) 環境にやさしいライフスタイルの推進

498万円 (444万円) [P26]

市民が環境に关心を持ち、環境にやさしい行動を継続して実践していただけるよう、市民参加型の「エシカル消費キャンペーン」、小学生が家庭・地域での環境行動に取り組む「こども『エコ活』大作戦！」、小中学生が環境に関して学んだことを発表する「こどもエコフォーラム」など、学校・企業等と連携した取組を実施します。

(4) 地籍調査

5,807万円(7,716万円)^{※1} (8,511万円)^{※2} [P23]

※1 7年度当初予算と6年度2月補正予算の合計額、※2 6年度当初予算と5年度2月補正予算の合計額

土地取引の円滑化、災害復旧の迅速化などのため、地籍調査を実施します。令和7年度は、金沢区寺前一丁目一部ほかにおいて、調査を実施します。

また、過年度成果の電子化を進め、一部を地籍調査成果窓口閲覧システムで提供します。

コラム

環境教育・学習の推進に関する連携協定

環境情報紙「エコチル」を発行する(株)アドバコムと連携協定を包括的に締結しました。「エコチル」は、こどもたちに、もっと環境に関心をもってもらえる機会をつくることを目的に創刊されました。平成31年4月から横浜市立の全小学校の児童に無料配布(月間発行部数:約16.5万部)され、環境に関する理解の促進や、家庭のコミュニケーションツールとして、多くのこどもたちに活用されています。

連携協定の締結により、GREEN×EXPO 2027を見据えこどもたちの環境教育・学習を更に推進し、環境行動を実践する人づくりに積極的に取り組んでいきます。

「エコチル」を活用し、GREEN×EXPO 2027をはじめ、生物多様性、脱炭素、みどりアップ、公園、資源循環に関する情報等を幅広く発信します。



環境情報誌「エコチル」
横浜版 2024年12月号

■みどり

「横浜みどり税」を財源の一部に活用し、4期目となる「横浜みどりアップ計画[2024-2028]」を推進します。また、多様な主体と連携を進めながら、緑や花による魅力や賑わいを創出し、GREEN×EXPO 2027 につなげます。

2 市民とともに次世代につなぐ森を育む取組 [横浜みどりアップ計画]

(1) まとまりのある樹林地の保全・活用

ア 緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り 66億2,517万円 (48億4,659万円) [P42、45]

市内に残る樹林地の多くは民有地であり、まとまりのある樹林地を保全して次世代に引き継ぐためには、土地を所有する方が、できるだけ長く持ち続けられるよう支援することが必要です。

そこで、緑地保全制度の指定により土地を所有する方への税の減免等の優遇措置を講じることで、樹林地を保全します。また、特別緑地保全地区等の指定地で、所有者に不測の事態等が発生し、市への土地買入れ申出があった場合に、市が買取りに対応します。



新治市民の森

イ 良好な森の育成

11億5,888万円 (10億1,036万円) [P42、45]

愛護会や森づくりボランティア、企業等様々な主体と連携しながら、生物多様性の保全、快適性の確保、良好な景観形成など森に期待される多様な機能が発揮できるよう、安全で良好な森づくりを進めます。

また、土地を所有する方が、できるだけ長く樹林地として持ち続けられるよう、維持管理の負担を軽減するため、費用の一部を助成します。通常の維持管理助成に加え、台風や風水雪害による被害を受けた際にも、倒木等の除去などに費用の一部を助成します。



維持管理助成事業

ウ 森に関わる多様な機会の創出

9,931万円 (9,951万円) [P42、45]

市民が横浜の森について理解を深め、その魅力に直接触れる体験を通じ、森づくり活動などへの参加にもつなげていくため、各区や大学などと連携したイベントや講座の開催、小学校と連携し森を活用した体験学習ができる機会づくりや、森の情報発信等に取り組みます。また、森づくりを担う人材の育成のため、活動に必要な知識や技術に関する研修を実施します。

保全した森を「市民の森」として開園し、自然に親しみ、憩える場として活用していきます。また、地域における多様な森の利活用を進めます。

3 市民が実感できる緑や花をつくる取組 [横浜みどりアップ計画]

(1) 市民が実感できる緑や花の創出・育成

6億3,926万円 (5億9,846万円) [P44、48]

緑や花による景観形成や賑わい創出につながる緑の創出・育成を推進します。

- ・区の主要な公共施設・公有地における緑の充実及び多くの市民の目にふれる場所で緑の豊かな空間を創出
- ・街路樹の良好な維持管理や地域に親しまれている桜並木等の再生による、街路樹による良好な景観づくりの推進
- ・都心部など多くの人が訪れる公開性のある場所で、市民・事業者が実施する緑化を支援

(2) ガーデンシティ横浜の更なる推進

ア 緑や花があふれる地域づくり

2億 4,083 万円 (2億4,101万円) [P44、48]

緑の創出・育成に積極的に取り組む市民や企業を支援し、市民生活の身近な場所で、緑や花に親しむきっかけづくりを推進します。

- ・地域が主体となり、地域にふさわしい緑を創出する取組として地域緑のまちづくり事業を実施
- ・緑や花に親しむ市民の盛り上がりを醸成するため、地域に根差した各区での取組を推進
- ・人生の節目の記念に希望した市民に、苗木を配布

イ 子どもを育む空間での緑の創出・育成

8,730 万円 (8,900万円) [P44、48]

子どもたちが緑に親しみ、感性豊かに成長できるよう、保育園、幼稚園、小中学校を対象に、園庭・校庭の芝生化に加え、花壇づくり、屋上や壁面の緑化、ビオトープ整備など、施設ごとのニーズにあわせた多様な緑の創出・育成を進めます。また、芝生等の維持管理に対する支援を行います。

ウ 緑や花による魅力・賑わいの創出・育成

5億 9,445 万円 (5億3,645万円) [P44、48]

山下公園などの都心臨海部や、里山ガーデンなど、多くの市民や観光客が訪れる場所で、地域や施設の特性にあわせた季節感ある緑や花による魅力的な場づくりを集中的に展開することで、いつ訪れても緑や花で彩られた賑わいのある街を創出します。



山下公園

4 「横浜みどりアップ計画」広報 [横浜みどりアップ計画]

「横浜みどりアップ計画」広報

1,538 万円 (1,514万円) [P49]

「横浜みどりアップ計画」の取組の実績や効果について、より多くの市民・事業者の皆様にご理解いただき、緑を楽しみ、緑に関わる活動に参加していただけるよう、「広報よこはま」や公共施設でのデジタルサイネージなど様々な媒体を活用し、効果的な情報発信を進めます。

コラム

横浜みどりアップ計画 15 年の成果と今後の展望

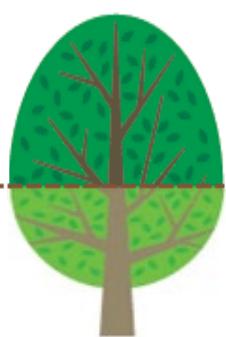
横浜市では、緑の減少に歯止めをかけ、「緑豊かなまち横浜」を次世代に継承するため、2009 年から、横浜みどり税を財源の一部に活用しながら緑の保全・創出に取り組んできました。これまでの 15 年間で、横浜スタジアム約 300 個に相当する 1,082.5ha の樹林地や、市内の水田面積の約 9 割を保全したほか、散策や憩いの場となる市民の森や市民農園の開設など、緑とふれあう場づくりや、地域緑のまちづくりやオープンガーデンなど、まちなかの緑や花による魅力的な空間づくりを進めてきました。今後は、これらの取組とともに、緑の活用をさらに推進することで、緑のある暮らしの豊かさを実感できるまちづくりを進めます。また、緑にかかわる市民活動をさらに充実させ、GREEN × EXPO 2027 に向けた共感や機運の醸成にもつなげていきます。

樹林地の保全の進展

緑地保全制度による指定面積は、計画開始前と比べ、
3 倍以上のスピードで保全を推進

これまでのみどりアップ計画
(2009~2023 年度)
15 年間 1082.5 ha
(72.2ha/年)

みどりアップ計画開始前
(1969~2008 年度)
40 年間 861.9 ha
(21.5ha/年)



緑を実感できるまちづくりの展開



農体験ができる公園



緑や花による魅力的な
空間づくり (山下公園)



散策や憩いの場である市民の森



地域の緑や花に親しむ取組

5 ガーデンネックレス横浜の取組

(1) ☆ガーデンネックレス横浜2025の開催

2億2,587万円 (2億1,672万円) [P26]

ガーデンシティ横浜を推進するリーディングプロジェクトの一環として、「ガーデンネックレス横浜 2025」を開催します。

山下公園などのみならずエリアや郊外部の里山ガーデンを花と緑で彩るほか、鉄道事業者など企業と連携したプロモーションを展開します。また、子どもから大人まで多様な世代を対象とし、花・緑・環境を感じることができる日本最大級の園芸イベントとして「横浜フラワー&ガーデンフェスティバル 2025」を開催します。花と緑による街の魅力形成や賑わいを創出することで、横浜のブランド力向上とともに、子どもたちを始めとする多様な世代の市民や様々な企業の花と緑に対する関心を高め、GREEN×EXPO 2027 に向けた盛り上がりにつなげます。



ガーデンネックレス横浜

(2) ガーデンシティ横浜の更なる推進[横浜みどりアップ計画]【一部再掲】

ア 緑や花があふれる地域づくり

6,270万円 (6,500万円) [P48]

緑や花に親しむ市民の盛り上がりを醸成していくため、地域をはじめとする多様な主体と連携した緑や花に関するイベントの開催、緑や花を育む活動の支援など、地域に根差した各区での取組を推進します。

市民参加による様々な花壇づくりの手法を身近な公園等での活動につなげるため、山下公園などにおいて花壇づくりイベントや講習会を行います。また、講習会で得られた経験を、各地域の公園愛護会活動を通して地域の子どもたち等にも展開することにより、緑や花による地域づくりを進めます。



オープンガーデン

イ 緑や花による魅力・賑わいの創出・育成

2億4,140万円 (1億9,140万円) [P48]

都心臨海部や郊外部（里山ガーデン）など多くの市民や観光客が訪れる場所で、緑や花による魅力的な場づくりを展開します。

6 全国都市緑化祭の開催準備

◎全国都市緑化祭の開催準備

800万円 (一円) [P22]

令和9年度開催に向けた準備を進めます。

コラム

環共・市民力で GREEN×EXPO 2027 を盛り上げる

GREEN
×
EXPO
2027
YOKOHAMA JAPAN

「環共」をテーマに開催される GREEN×EXPO 2027 に向け、みどり環境局に関係する多様な主体の皆様とともに、市域全体での盛り上がりにつながる花や緑、農、環境等の日々の様々な環境活動を進めていきます。

・日々の環境活動を GREEN×EXPO 2027 につなげる

EXPO での活動を見据え、市民や公園愛護会などの活動団体、事業者と共に、自らが行動する機運を一層高めながら、環境活動を積極的に展開していきます。

・花や緑、農、環境の取組によるにぎわい創出

公園や動物園などの魅力ある施設の一層の活用、収穫体験やガーデンネックレス横浜等のイベントなど、EXPO 開催時に来場者が市内を回遊したくなるような取組を推進します。

・GREEN×EXPO 2027 の魅力発信

公園や動物園など局所管施設での様々なイベントにおいて PR を実施します。

■公園

市民のレクリエーションや子育て、健康づくり等の場として、身近な公園から大規模な公園、及び動物園等について、維持管理・運営・整備を進めます。さらに、住みたい・住み続けたい・子育てしたいまちにつながるよう、公民連携をはじめ多様な利活用を推進するなど、「公園のまち ヨコハマ」(P10にコラムあり)としての取組を展開します。

7 公園の維持管理・運営、整備

(1) ☆公園の維持管理・運営 **76億9,722万円 (74億3,391万円) [P24]**

約2,700か所ある公園を安全かつ快適に利用できるよう、公園施設等の点検・補修、清掃、草刈、樹木の剪定などを行います。

新横浜公園など92公園では、指定管理者による効率的な管理運営を行います。

あわせて、地域の方々により組織された公園愛護会など、市民との協働による維持管理を行うとともに、GREEN×EXPO 2027に向けて、更なる技術向上を目指した新たな花壇づくり講習会など様々な支援を強化していきます。

また、令和7年4月から公園が禁煙となる旨の周知・啓発活動を進めています。



遊具等の点検

(2) 公園の整備 **116億416万円 <123億5,416万円>*1 (135億3,914万円)*2 [P27]**

*1 7年度当初予算と6年度2月補正予算の合計額 *2 6年度当初予算と5年度12月補正予算の合計額

ア 公園整備事業 **113億7,416万円 <118億7,416万円> (135億3,914万円) [P27]**

(ア) 施設修繕 **63億8,983万円 <65億8,503万円>*1 (76億8,655万円)*2 [P27]**

*1 7年度当初予算と6年度2月補正予算の合計額 *2 6年度当初予算と5年度12月補正予算の合計額

安心して公園を利用できるよう、施設の劣化や破損等を早期に発見し、適切に修繕を行います。また、耐用年数に応じた計画的な更新や、市民要望を踏まえた施設改良を実施します。

(イ) 公園のがけ地等施設安全対策 **4億800万円 (2億8,600万円) [P27]**

公園利用者や近隣施設への安全確保のためにがけ地の防災対策工事や護岸改修工事等を行います。

(ウ) 新設・再整備 **12億5,424万円 <15億5,904万円>* (12億5,962万円) [P27]**

* 7年度当初予算と6年度2月補正予算の合計額

子どもたちの遊び場や市民の憩いの場である公園の新設整備や、周辺状況や市民ニーズの変化を捉えながら老朽化が進んだ公園の全面的な再整備を実施し、誰もが安全・快適に過ごせる公園づくりを進めます。

(エ) 土地利用転換に対応した大規模な公園の整備・事業推進

13億1,176万円 (19億7,350万円)* [P27]

* 6年度当初予算と5年度12月補正予算の合計額

舞岡八幡山しぜん公園で、多様な市民ニーズに応える公園の整備を進めるほか、小柴自然公園では、第2期エリアの開園に向けた取組を進めるとともに、(仮称)深谷通信所跡地公園の整備に向けた手続きを進めます。

(才) ☆周辺のまちづくりと連携した公園リニューアル 3億4,400万円 (2億5,000万円) [P27]

野毛山動物園では、リニューアルプランに基づき、動物展示と多様な遊びの機能が一体となった動物展示等複合施設の設計や、動物の飼育環境の改善など、更なる魅力向上に向けて取り組みます。

また、大通り公園では、関内駅側の3ブロックでPark-PFI事業によるリニューアルを進めるほか、阪東橋駅側の5ブロックではリニューアルに向けた整備内容の検討を行います。

さらに、山下公園では、山下公園通りと一体となった歩行・休憩空間の設計や横浜らしい夜間景観の演出のための照明の設計・整備等を行います。

(カ) 用地取得 6億6,633万円 (10億8,347万円) [P28]

すでに公開されている公園の借地部分や拡張部などの公園用地を取得します。

(キ) 先行取得用地の有償所管換 10億円 (10億円) [P28]

先行取得した公園用地の有償所管換えを進めます。

イ ◎公園環境整備加速化事業 1億6,000万円 (一円) [P28]

新たな地震防災戦略に基づき、誰もが過ごしやすい公園にするとともに、発災時における地域のいっぽき避難場所としての機能向上を図るためにも、公園内のトイレの洋式化を進めます。

ウ ◎公園内歴史的建造物保存活用事業 7,000万円 (一円) [P28]

新たな地震防災戦略に基づき、旧根岸競馬場一等馬見所などの保存等に必要な調査、設計を行います。

エ ◎公園施設LED化事業 <2億5,000万円>※ (一円) [P28]

※ 6年度2月補正予算

横浜市地球温暖化対策実行計画に基づく、公園施設の照明LED化の取組を進めます。

8 動物園等の管理運営

(1) 動物園の管理運営 24億2,591万円 (23億8,320万円) [P25]

よこはま動物園ズーラシア・野毛山動物園・金沢動物園のそれぞれの特徴を生かした管理運営を行い、動物を通じて「楽しさ・憩い」、「学びの場」を提供するとともに、絶滅の危機に瀕している動物の「種の保存」や「調査研究」に取り組むことにより国際的役割も果たしていきます。

また、都市のにぎわいや、魅力・都市ブランド力の向上に向けた動物園の充実を進めます。



オカピの赤ちゃん(ズーラシア)

(2) 繁殖センターの管理運営 6,607万円 (6,320万円) [P25]

繁殖センターにおいて、ミゾゴイやニホンライチョウ、カンムリシロムクなど国内外で絶滅の危機に瀕している動物の保全・繁殖に取り組みます。

(3) 動物園・繁殖センターの国際的な取組【一部再掲】 3,502万円 (2,023万円) [P25]

世界的に絶滅の危機に瀕する動物の保全に貢献するため、動物園基金も活用し、世界の動物園等と連携し、動物収集を行います。

また、保全に関わる研究に取り組みます。



マレーバクの赤ちゃん(繁殖センター)

「公園のまち ヨコハマ」 ～誰もが過ごしやすい公園づくり～

横浜には、地域の憩いの場となる身近な公園から、散策やスポーツができる大規模な公園、山下公園、港の見える丘公園など多くの観光客が訪れる公園や動物園まで、多彩な公園があります。これらの「公園」は市民の皆様に安らぎと活力をもたらす、豊かな暮らしに欠かせない財産であり、横浜が誇る魅力のひとつになっています。

公園を安全・安心に利用できるように維持管理を着実に行うとともに、様々な世代のニーズに応えるために、公園の持つ可能性をさらに引き出し、高める取組を強化します。また、子育て支援や防災・減災等の政策課題に取り組む場としても活用します。これらの取組を進めることで、誰もが過ごしやすく、快適な公園づくりをさらに進めていきます。

■インクルーシブな公園づくりの推進

身近な公園では、公園の利用状況や地域のニーズの把握、ヒアリング等を踏まえて、インクルーシブな遊具の設置や周辺の園路等のバリアフリー改修等を行い誰もが一緒に楽しめ、使いやすい公園づくりを進めます。また、本牧市民公園でのインクルーシブな遊び場の整備に向けた検討を進めます。

■農体験ができる公園の整備

市民の皆様の農体験への高いニーズに応えるため、農地の少ない都心部等においても農の魅力を実感できるよう、本牧山頂公園等で農作業が楽しめる農園の整備に向けた計画づくりを進めます。



農体験ができる公園

■公園の禁煙化

「子育てしたいまち 次世代を共に育むまち ヨコハマ」を目指し、子どもたちが安全に安心して遊べる環境を確保するとともに、多くの方が集い、憩う公園で、受動喫煙対策を進めるため、横浜市公園条例の一部を改正し、令和7年4月より公園での喫煙を禁止とします。



水遊びイベントの様子

■夏の暑さ対策

公園利用上の注意喚起を実施するほか、こどもログハウスやプールなどの施設改良、水遊びイベントの開催、緑陰を楽しめる公園の紹介など、ソフト・ハードの両面から対策を進めます。



洋式化した海の公園のトイレ

■トイレの洋式化

施設ごとの老朽化の状況等にあわせて、利便性の向上やバリアフリーへの対応を図るとともに、新たな地震防災戦略に基づき災害時でも帰宅困難者等が利用しやすいよう、公園トイレの洋式化・リフレッシュ化を進めます。



防災施設を整備した公園

■防災機能の拡充

新たな地震防災戦略に基づき、密集市街地のうち、市民主体で防災活動を行うまちづくり協議会等のある地域において、地域との意見交換をしながら、発災時の避難や初期消火に役立つ防災施設等の整備など、既存の公園の施設改良を進めます。



スケートリンクを設置した山下公園でのイベント

土木事務所と連携した身近な環境の保全・創造

各区の土木事務所では、横浜市の全2,733か所※の公園のうち、地域に身近な2,645か所※を管理しており、日常的な維持管理・修繕、公園愛護会等の支援のほか、公園を使用する場合の許認可やマナー啓発、地域に根差した特色ある公園づくりを担っています。地域の憩いの場であり、子どもたちの遊び場でもある身近な公園を市民が安全で安心して快適に利用できるよう区局一体となって管理等に取り組みます。

※令和7年3月31日時点

■公園の日常的な維持管理

土木事務所では、定期的な草刈りや樹木の剪定の他、年4回遊具等の公園施設の点検を行っています。

公園の施設の不具合を発見した場合、使用を中止して、修理するなどの緊急対応を行うほか、施設の劣化状況も点検し、傷みの目立つ施設を交換するなど、計画的に修繕を行っています。



草刈り作業

■公園再整備、施設改良

老朽化した施設や遊具等がある場合は、事故を未然に防ぎ、安全・安心な公園利用のため、地域と調整しながら施設の更新や異なる施設への入れ替えを行います。

また、長い年月が経ち、公園が使いにくくなっているような場合には、長寿命化の観点から公園全体の再整備工事を行い、施設、設備の入れ替えや、利用状況にあわせた機能の見直しを行い、ライフサイクルコストの縮減に取り組みます。



公園の再整備

■地域に根差した特色ある公園づくり

公園での健康づくりとして健康づくり講習会や健康器具の設置などを行い、区や地域の特性にあわせて特色のある公園づくりを実現しています。

■公園愛護会の活動支援

横浜市の公園のおよそ9割、2,460か所※の公園で公園愛護会が活動しています。公園愛護会の皆様には公園の日常的な清掃等の手入れ、花壇づくりや地域のイベントなど公園の魅力を高める活動を行っていただいています。



公園愛護会の講習会
(アジサイ剪定)

土木事務所には公園愛護会の相談窓口となる職員（コーディネーター）が配置され、技術支援や講習会などの様々な支援を行っています。さらに、新たな花壇づくりへの支援など、公園愛護会活動の活性化を図り、GREEN×EXPO 2027につなげていきます。

※令和7年3月31日時点

■街路樹の育成・維持管理

駅周辺や各区の主要な路線を中心に、多くの市民の目にふれ、街並みの美観向上に寄与する街路樹を良好に育成します。また、地域に親しまれている桜並木等の再生を行い、街路樹による良好な景観づくりを進めます。



街路樹による良好な景観づくり

■タブレット端末活用による現場業務の効率化

土木事務所の職員が現場にタブレット端末やウェアラブルカメラを携行することにより、公園の「現場調査」のほか、「災害対応」、「工事現場監督」など様々な業務のオンラインやペーパーレス化等の効率化を進めています。

■農業

新鮮な農畜産物の供給のほか、良好な農景観の形成、生物多様性の保全、防災や農体験・学習の場など市民生活に豊かな恵みをもたらす本市の都市農業を未来へつなげていくため、経営改善に向けた生産環境の整備や、農業の担い手への支援、地産地消の推進などの取組を進めます。さらに、横浜らしい魅力的な農体験を新たに展開するなど、市民が農に触れる機会を創出します。

9 持続できる都市農業の推進

(1) ☆農業経営の安定化・効率化に向けた農業振興 1億5,077万円 (1億2,598万円)

[P31、32]

都市農業の基盤となる農地、かんがい排水施設、農道などの整備支援を進め、農業生産環境の向上を図ります。

また、スマート農業技術の導入や普及に向けた支援、家畜防疫対策の実施など、農業者の多様なニーズに対応した市内産農畜産物の生産振興を進め、農業経営の安定化・効率化を推進します。



土地改良を実施した農業専用地区

(2) 横浜の農業を支える多様な担い手に対する支援 7,373万円 (9,808万円) [P31、32]

意欲的に農業に取り組む認定農業者や女性農業者などの担い手の育成や、経営改善に向けた支援を行います。新規就農者に対しては、就農5年目までの期間に必要とする機械・施設等にかかる費用や、農地の確保を支援します。また、農福連携の取組として、農家や福祉事業所等への啓発活動等の支援を実施します。さらに、農業金融制度等による農業経営の安定化についても取り組みます。



支援を活用して導入した農業用施設

(3) 農地の保全と利用促進

2,153万円 (2,308万円) [P31]

市街化調整区域内の農地の貸し借りを進め、農地の利用を促進します。また、農地法や農業振興地域の整備に関する法律などの法制度に基づいた農地の保全を図ります。

市街化区域の生産緑地については、買取申出時期が10年間延期される特定生産緑地制度や農地の貸借をしやすくする制度の活用等により、保全を推進します。

(4) 旧上瀬谷通信施設地区における農業振興の推進

2,009万円 (2,100万円) [P31]

旧上瀬谷通信施設地区の農業振興について、土地区画整理事業の実施とあわせて将来の農業生産基盤の整備内容や農業振興策の検討を進めるとともに、将来も営農を継続される担い手に対して、安定した農産物の生産及び高収益化を図るための支援を実施します。

また、将来のまちづくり検討にあわせ、引き続き、農業の高収益化や新技術の活用などについて、企業や大学等とも連携し、新しい上瀬谷の農業の確立を目指した取組を進めます。

コラム

再生リンを活用した肥料化の取組

食料安全保障の強化や農業の持続性向上だけでなく、循環型社会や地域活性化の観点においても重要なサーキュラーエコノミーの構築等につなげるため、リン成分を多く含む下水汚泥からリンを回収し、再生リンとして配合した肥料を活用する取組を下水道河川局、JA横浜、JA全農かながわと連携して進めています。

再生リン入り肥料の利用が促進されるよう試験栽培を進め、農家に対する普及・啓発を行っていきます。また、消費者に対して取組内容の理解促進を目指してPRを進めています。



試験栽培の様子

10 市民が身边に農を感じる場をつくる取組

(1) 農に親しむ取組の推進[横浜みどりアップ計画]

ア 良好的な農景観の保全

市内に残る貴重な水田景観の保全を図るため、土地所有者への水田保全奨励や水田の維持・拡大を目指す耕作者への維持管理支援を行うとともに、意欲ある農家・団体などによる農地を維持する取組を支援します。

2億 6,567 万円（2億 2,756 万円）[P43、46]



水田保全奨励により保全された水田

イ 農とふれあう場づくり

5億 5,666 万円（7億 7,945 万円）[P43、46、47]

野菜や果物の収穫体験ができる農園や区画貸しの農園及び農園付公園など、様々な市民ニーズにあわせた農園開設・整備を一層進めるとともに、都心部において、公園内での農園整備を推進します。また、恵みの里等での農体験教室の開催や、学校での農に関する出前講座等の取組を支援することにより農とふれあう機会を市民に提供します。



認定市民菜園

(2) 「横浜農場」の展開による地産地消の推進[横浜みどりアップ計画]

ア 身近に農を感じる地産地消の推進

5,720 万円（4,760 万円）[P47]

身近に農を感じる取組として、市内産農畜産物などを販売する直売所等の整備・運営支援や、市内で生産される苗木や花苗の配布などの取組を進めます。

また、「横浜農場」を活用したプロモーションを積極的に行い、地産地消に関する情報の発信など、PR活動を行います。



横浜農場ロゴマーク

イ 市民や企業と連携した地産地消の展開

1,447 万円（1,027 万円）[P47]

「横浜農場」の展開による地産地消を推進するため、食と農をつなぐ地産地消に関わる人材の育成、活動の支援、ネットワークの強化を図るとともに、農と市民・企業等が連携した取組を進めます。



はまふうどコンシェルジュ講座

(3) ◎子育て世帯向けの農体験「すぐすぐファーム 横浜」の取組

ア 都心臨海部における気軽な農体験機会の創出

1,000 万円（－万円）[P32]

子育て世帯をターゲットに、みなとみらいなどの都心臨海部の商業施設における野菜の収穫体験等の気軽な農体験の機会を創出します。

イ 郊外部における農体験機会の拡充

1,000 万円（－万円）[P32]

農の資源が豊かな郊外部において、農園での収穫体験や特色ある農の魅力の案内など、子育て世帯のニーズに合った農体験の機会の拡充に企業・団体等と連携して取り組みます。

ウ 家庭等での農体験機会の創出

800 万円（－万円）[P32]

子育て世帯を対象に、農にふれる初めの一歩として、自宅などで親子で楽しみながら栽培ができるオリジナル栽培キットの配布をモデル実施します。

エ 農体験情報ウェブサイトの構築【一部再掲】

700 万円（－万円）[P32、47]

横浜の農体験に関する情報を市民が容易に得られるように、農体験や農に親しむことのできる取組の情報を、一元的に提供するウェブサイトの構築等を進めます。

■環境保全

市民生活や事業活動の基盤となる良好な環境を守るために、環境状況の把握、事業所への規制・指導、試験検査などを実施します。また、環境影響評価制度の適切な運用により大規模な事業を実施する事業者自らの取組を促すとともに、環境行政の基盤となる科学的な調査研究や環境情報の共有・啓発を行うなど、市民、事業者、他の自治体等と共に、環境への負荷の低減を図る取組等を進めます。

11 大規模事業における環境負荷の低減

環境影響評価(環境アセスメント)制度の運用

721万円 (681万円) [P33]

環境に及ぼす影響について事業者自らが環境影響評価技術指針に基づき、事前に調査・予測・評価を行い、その結果を公表して市民意見を聞くとともに、環境影響評価審査会での審議などの手続きを通し、環境に配慮した事業とする環境アセスメント制度を運用します。



環境影響評価制度対象事業の現地視察

12 良好的な大気・音・水・土壤環境の確保

(1) 環境状況の把握と情報発信・共有

2億7,033万円 (2億6,583万円) [P33]

市域の大気環境の状況について市内27測定局で常時監視するほか、空間放射線量、道路交通・新幹線騒音、河川・海域の水質などを測定します。これらの測定データのほか、光化学スモッグ注意報などの環境情報を横浜市ウェブサイト等で公表します。

(2) 大気汚染、騒音、水質汚濁、土壤汚染等に関する事業所への規制・指導

1億356万円

(9,302万円) [P33]

環境法令や横浜市生活環境の保全等に関する条例に基づく届出審査、事業所への立入調査や排ガス・排水等の採取・分析を行い、データに基づく適切な指導などを行います。また、事業者と環境情報の共有や環境保全協定の運用など、積極的な対話を通して環境保全対策に連携して取り組みます。さらに、土地の土壤汚染状況を地図情報システムと連携させて公開するなど、デジタル化による事業者の利便性向上を図ります。



事業所への立入時の採水作業

(3) 試験検査・環境危機管理対策事業

1,077万円 (1,013万円) [P34]

工場排水や大気環境中の有害化学物質、アスベスト等の試験検査、放射能測定、地盤沈下の観測及び緊急的な水質事故や異臭等の分析を行います。また、地盤沈下の常時監視、地下水位の定点観測、地盤情報をとりまとめ、ウェブサイト等で情報提供を行います。



有害大気汚染物質の分析

コラム

大気・水環境の常時監視を実施しています

生活環境に関する環境基準の適否等の現状把握や環境保全に関する施策の効果を確認するため、大気環境や水環境の監視を継続的に行ってています。

常時監視システムのデジタル化による効率化を図るとともに、測定局舎・測定機器を計画的に更新します。

また、令和7年度から、市内27か所にある大気常時監視測定局において、施設維持管理に係る財源の確保及び施設の魅力向上や環境保全等に資することを目的として、ネーミングライツを導入しています。

引き続き、事業者・市民の皆様と共に環境保全の取組を進め、自然豊かな都市環境の充実を図ります。



大気常時監視測定局

13 身近な生活環境の保全

(1) 騒音・悪臭等の相談対応

603万円 (606万円) [P33]

市民から寄せられる大気汚染・悪臭・騒音・振動・水質汚濁等の公害に関する相談等に迅速かつ適切に対応するため、必要な調査や測定等を行い、その結果に応じて発生源に対して指導を行います。

(2) ☆身近な生活環境の保全に向けたプロモーション等の推進 1,197万円 (337万円)

[P33, 34]

環境負荷の低減や環境汚染の未然防止に向け、事業者と共に取り組んでいる環境保全対策について発信する等、市民に一層の関心をもつていただくとともに、事業者の更なる取組を後押しする環境保全プロモーションを開催します。また、みずしるべ（水辺のすこやかさ指標）調査を市民団体等と連携して実施し、水環境保全に関する普及啓発を推進します。

さらに、九都県市などで連携し、東京湾の水質改善や光化学スモッグ対策などに取り組みます。



Y-Labo ウェブサイトでの情報発信

(3) ☆豊かな海づくり事業

705万円 (189万円) [P34]

多様な生き物が生育する市民に身近な豊かな海を目指して、山下公園前海域でモニタリング調査を行うとともに、関係局や民間企業と連携し、海の環境改善につながる取組を進めます。また、市民が海に親しむきっかけづくりとなる動画やリーフレットを作成し、ワールドトライアスロン・パラトライアスロンシリーズ横浜大会等と連携したイベントを通して普及啓発を行います。



山下公園前海域でのモニタリング調査

(4) 都市の暑さ対策調査研究事業

108万円 (89万円) [P34]

都市の暑さの状況把握のため、市内 36 地点での気温観測を行うほか、暑熱への適応に向けて暑さ対策を導入した際の効果や適切な運用方法等について検証を行います。

調査結果は、市民や事業者などへ情報発信するほか、出前講座などを通じて、市民へ向けた暑さ対策に関する啓発も行います。



気温観測調査

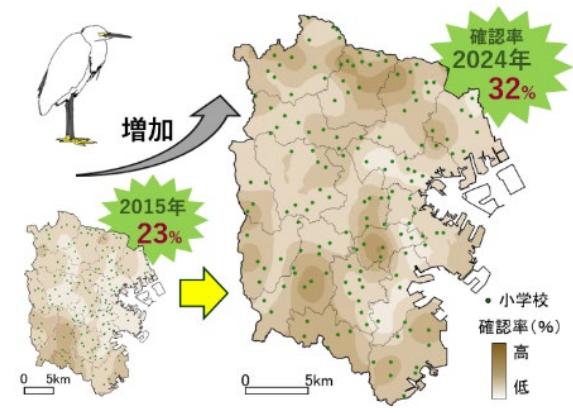
コラム

こども「いきいき」生き物調査

平成 25 (2013) 年度から、市立小学校の児童に調査票を配布し、過去 1 年間に家や学校の近くで見たり、鳴き声を聞いたりした生き物を報告してもらう、「こども『いきいき』生き物調査」を実施しています。

令和 6 (2024) 年度は市立小学校の 5 年生を中心に 164 校 10,188 人の児童がこの調査に参加し、近年は白サギを見かける機会が増えているなどの結果が得られました。調査結果の詳細は、横浜市のウェブページで公表しています。

今後も、この調査を通して子どもたちに地域の自然や生き物への関心を高めてもらうとともに、生物多様性に資する基礎データを蓄積していきます。



白サギの調査結果

Ⅲ 各会計別予算

一般会計	18
一般会計予算総括表	20
債務負担行為	21
(1)みどり環境総務費（9款1項1目）	22
(2)みどり環境企画費（9款1項2目）	22
(3)地籍調査費（9款1項3目）	23
(4)建設発生土対策費（9款1項4目）	23
(5)みどり基金積立金（9款1項5目）	23
(6)公園緑地管理費（9款2項1目）	24
(7)動物園費（9款2項2目）	25
(8)環境活動事業費（9款2項3目）	26
(9)公園緑地整備費（9款2項4目）	27
(10)農政推進費（9款3項1目）	31
(11)農業振興費（9款3項2目）	32
(12)環境保全事業費（9款4項1目）	33
(13)環境科学研究費（9款4項2目）	34
(14)みどり保全創造事業費会計繰出金（19款1項12目）	34
みどり保全創造事業費会計	36
みどり保全創造事業費会計予算総括表	38
横浜みどりアップ計画の推進	39
債務負担行為	41
(1)樹林地保全創造費（1款1項1目）	42
(2)都市農地保全費（1款1項2目）	43
(3)緑化推進創造費（1款1項3目）	44
(4)樹林地保全費（1款2項1目）	45
(5)都市農業育成費（1款2項2目）	46
(6)緑化推進費（1款2項3目）	48
(7)広報推進費（1款2項4目）	49
(8)みどり基金積立金（1款3項1目）	49
(9)元金（1款4項1目）	49
(10)利子（1款4項2目）	50
(11)公債諸費（1款4項3目）	50
(12)予備費（1款5項1目）	50

— 般 会 計

◎は新規事業、下線部は内容

☆は拡充事業、下線部は内容

() 内は前年度予算額

<一般会計予算総括表>

(歳出)

区分	本年度	前年度	増△減	前年度 増減比較
9款 みどり環境費	千円 <33,679,032> 32,909,944	千円 <34,184,613> 33,600,413	千円 <△505,581> △690,469	<△1.5%> △2.1%
1項 みどり環境総務費	9,648,188	9,298,708	349,480	3.8%
1目 みどり環境総務費	6,442,837	6,177,968	264,869	4.3%
2目 みどり環境企画費	52,661	39,118	13,543	34.6%
3目 地籍調査費	<77,158> 58,070	<85,112> 62,912	<△7,954> △4,842	<△9.3%> △7.7%
4目 建設発生土対策費	81,620	83,710	△2,090	△2.5%
5目 みどり基金積立金	3,013,000	2,935,000	78,000	2.7%
2項 公園緑地費	22,158,040	23,263,033	△1,104,993	△4.7%
1目 公園緑地管理費	7,697,220	7,433,905	263,315	3.5%
2目 動物園費	2,521,426	2,460,849	60,577	2.5%
3目 環境活動事業費	320,231	314,135	6,096	1.9%
4目 公園緑地整備費	<12,369,163> 11,619,163	<13,554,144> 13,054,144	<△1,184,981> △1,434,981	<△8.7%> △11.0%
3項 農政費	505,790	482,315	23,475	4.9%
1目 農政推進費	412,155	394,870	17,285	4.4%
2目 農業振興費	93,635	87,445	6,190	7.1%
4項 環境保全費	597,926	556,357	41,569	7.5%
1目 環境保全事業費	399,100	375,096	24,004	6.4%
2目 環境科学研究費	198,826	181,261	17,565	9.7%
19款 諸支出金	3,567,690	3,600,064	△32,374	△0.9%
1項 特別会計繰出金	3,567,690	3,600,064	△32,374	△0.9%
12目 みどり保全創造事業費会計繰出金	3,567,690	3,600,064	△32,374	△0.9%
計	36,477,634	37,200,477	△722,843	△1.9%

(歳入)

区分	本年度	前年度	増△減	前年度 増減比較
17款 使用料及び手数料	千円 1,300,044	千円 1,108,657	千円 191,387	17.3%
18款 国庫支出金	2,104,777	2,522,377	△417,600	△16.6%
	<70,931>		<△9,466>	<△11.8%>
19款 県支出金	56,615	80,397	△23,782	△29.6%
20款 財産収入	16,001	15,498	503	3.2%
21款 寄附金	21,201	53,843	△32,642	△60.6%
22款 繰入金	169,978	129,498	40,480	31.3%
24款 諸収入	432,478	456,044	△23,566	△5.2%
	<6,133,000>	<7,967,000>	<△1,834,000>	<△23.0%>
25款 市債	5,677,000	7,467,000	△1,790,000	△24.0%
計	9,778,094	11,833,314	△2,055,220	△17.4%

・本年度<>内は、令和7年度当初予算と令和6年度2月補正予算(令和7年度予算の前倒し)の合計額

・前年度<>内は、令和6年度当初予算と令和5年度12月及び2月補正予算(令和6年度予算の前倒し)の合計

債務負担行為

新たに債務負担行為をするもの

事　　項	期　　間	限　　度	額
公　園　施　設　修　繕　工　事 請　　負　　契　　約	令　和　8　年　度	限　度　額	160,000 千円
公　園　綠　地　整　備　工　事 請　　負　　契　　約	令　和　8　年　度	限　度　額	820,000 千円

(1)	みどり環境 総務費 9款1項1目	本年度	前年度	差引	本年度財源内訳			
					国・県	市債	その他	一般
		千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
		6,442,837	6,177,968	264,869	—	—	12	6,442,825

職員の人事費（一般会計）を計上するほか、職員の人材育成事業などを実施します。

1 職員人件費 6,437,004 千円(6,163,737 千円)

2 事務管理費 5,833 千円(14,231 千円)

人材育成事業や庁舎管理などの事務管理にかかる経費を執行します。

(2)	みどり環境 企画費 9款1項2目	本年度	前年度	差引	本年度財源内訳			
					国・県	市債	その他	一般
		千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
		52,661	39,118	13,543	—	—	22,343	30,318

環境施策を総合的かつ計画的に推進するため、諸計画の進捗管理などを行います。また、環境分野での国際協力・国際交流に取り組みます。

1 みどり環境企画事業 40,277 千円(30,771 千円)

横浜市環境管理計画の推進状況を、市民および企業の環境に関する意識調査の結果等を活用して年次報告書として公表するほか、世界や国の潮流を踏まえ、新たな横浜市環境管理計画の策定を進めます。また、新たな横浜市水と緑の基本計画の策定に向けた検討を行います。さらに、横浜みどりアップ計画[2024-2028]の推進に向けた横浜みどりアップ計画市民推進会議や、環境の保全及び創造に関する事項を調査審議する環境創造審議会を開催します。

2 広域環境政策推進事業 220 千円(237 千円)

快適な地域環境の創造や地球環境の保全等の環境行政に関する取組を広域的に進めます。

3 よこはま協働の森基金事業 4,164 千円(8,110 千円)

市民に身近な小規模樹林地を市民と行政との協働により保全するため、事業のPRを行うとともに、市民や協働パートナーからの寄附を基金に積み立てます。

4 ◎都市緑化祭等開催事業 8,000 千円(一千円)

都市緑化に対する市民の理解と協力を得ることにより、都市緑化の推進を図り、潤いのあるまちづくりに寄与すること等を目的とした全国都市緑化祭等の式典の開催に向けて、準備を進めます。

(3)	地籍調査費 9款1項3目	本年度 千円 <77,158> 58,070	前年度 千円 <85,112> 62,912	差引 千円 <△7,954> △4,842	本年度財源内訳			
					国・県 千円 <32,880> 18,564	市債 千円 —	その他 千円 58	一般 千円 <44,220> 39,448

※本年度◇内は、令和7年度当初予算と令和6年度2月補正予算(令和7年度予算の前倒し)の合計額
前年度◇内は、令和6年度当初予算と令和5年度2月補正予算(令和6年度予算の前倒し)の合計額

地籍の明確化のため、国土調査法に基づく地籍調査事業を実施します。災害復旧時には調査成果を最大限に活かすため、成果の電子データ化による保全を進め、閲覧システムの運用保守を行います。

◇63,380千円

1 地籍調査事業

44,292千円(49,552千円)

金沢区寺前一丁目一部ほかの全筆調査を実施します。また、過去の調査成果の閲覧等を行います。

2 地籍調査成果管理システム化事業

13,778千円(13,360千円)

地籍調査成果の電子データを基に閲覧システムの運用保守を行います。

(4)	建設発生土 対策費 9款1項4目	本年度 千円 81,620	前年度 千円 83,710	差引 千円 △2,090	本年度財源内訳			
					国・県 千円 —	市債 千円 —	その他 千円 81,620	一般 千円 —

1 建設発生土対策事業

81,620千円(83,710千円)

本市公共工事から発生する建設発生土の安定的・継続的な処理を目的として、建設発生土対策事業を実施します。

本市臨海部搬出土量 令和7年度約250万m³ 令和6年度約300万m³

本年度も、建設発生土の広域的な利用を推進し、他都市への搬出事業を継続します。

広域利用事業搬出土量 令和7年度約1万m³ 令和6年度約1万m³

(5)	みどり基金 積立金 9款1項5目	本年度 千円 3,013,000	前年度 千円 2,935,000	差引 千円 78,000	本年度財源内訳			
					国・県 千円 —	市債 千円 —	その他 千円 —	一般 千円 3,013,000

横浜みどりアップ計画[2024-2028]に必要な経費に充てるため、横浜みどり税の令和7年度税収相当見込額を基金に積み立てます。

1 みどり基金積立金

3,013,000千円(2,935,000千円)

(6)	公園・緑地・ 管理費 9款2項1目	本年度	前年度	差引	本年度財源内訳			
					国・県	市債	その他	一般
		千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
		7,697,220	7,433,905	263,315	—	—	1,601,733	6,095,487

公園・緑地・緑道等の管理を行います。

あわせて、市民との協働による維持管理などを通して、地域活動を進めます。

1 ☆公園等維持管理費 4,045,548千円(3,741,898千円)

市民が公園を安全かつ快適に利用できるよう、遊具等の公園施設の定期的な点検や補修及び日常的な清掃、草刈、樹木の剪定等維持管理を実施します。

また、公園の新たな魅力と賑わいの創出に向け、「公園における公民連携に関する基本方針」に基づき、大通り公園をはじめとする個別の公園での公募設置管理制度（Park-PFI）の活用や民間事業者等のアイデアを活用した公募型イベントの実施など、公民連携による取組を推進します。

街区公園	2,361 か所	広域公園	5 か所
近隣公園	199 か所	都市緑地・緑道等	82 か所
地区公園	46 か所	歴史・風致公園等	21 か所
総合・運動公園	22 か所	広場公園	5 か所
合 計		2,741 か所 (令和7年度未想定数)	
各種運動施設（野球場・テニスコート等）11種 259施設			

※拡充：公園の禁煙に伴う周知・啓発活動

横浜市公園条例の一部改正を行い、令和7年4月から公園を禁煙としたことを周知するための広告掲出等や、喫煙が多く見られる公園の巡回・市民からの問合せ対応などを実施します。

2 公園・施設別管理運営事業費 3,505,405千円(3,385,724千円)

新横浜公園など92公園（よこはま動物園等3動物園を除く）について、指定管理者による効率的な管理運営を行います。

3 公園愛護会活動等支援事業 146,267千円(306,283千円)

(1) 公園愛護会活動等支援事業

地域住民で組織する「公園愛護会」による、公園の清掃・除草等の日常管理に必要な物品等の支援のほか、花壇づくりや公園を活用した地域のイベント開催などを支援します。

また、「GREEN×EXPO 2027」に向けて、更なる技術向上を目指した新たな花壇づくり講習会など様々な支援を強化していきます。

(2) プレイパーク支援事業 200千円(150千円)

子どもの創造力を生かした自由な遊びができるプレイパークの開催を支援します。

プレイパーク団体数 23団体

(7)	動物園費 9款2項2目	本年度	前年度	差引	本年度財源内訳			
					国・県	市債	その他	一般
		千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
		2,521,426	2,460,849	60,577	1,600	—	134,102	2,385,724

よこはま動物園ズーラシア・野毛山動物園・金沢動物園の市内3動物園の管理運営を行います。繁殖センターにおいては絶滅の危機に瀕する動物の保全・繁殖に取り組むことで国際的な生物多様性の保全に貢献します。

- 1 横浜市立動物園管理運営事業** 2,415,706千円(2,362,497千円)
市内3動物園の動物飼育、施設の維持・管理、来園者サービス等について指定管理者による一体管理を行うとともに、指定管理者や企業と連携し、種の保全や環境教育等の動物園の公的役割や環境問題について市民に広く発信します。
- 2 動物収集事業** 29,452千円(14,452千円)
市内3動物園の飼育動物の種の保全や魅力向上を図るため、引き続き動物収集を行います。
- 3 繁殖センター管理運営等** 66,068千円(63,200千円)
市内3動物園や世界の動物園等と連携を深めながら、横浜や国内の希少動物をはじめ、世界的に絶滅の危機に瀕する動物の保全・繁殖並びに研究に取り組みます。
- 4 動物園基金事業** 10,200千円(20,700千円)
生物多様性の保全への国際的な貢献と横浜市立動物園の充実を進めるため、遺伝的多様性の確保等から国内外での調整が必要となっている動物収集を着実に行えるよう、横浜市へのふるさと納税などを、動物園基金に積み立てながら、動物収集等に活用します。

※野毛山動物園のリニューアルについてはP27の公園緑地整備費「1(5)周辺のまちづくりと連携した公園リニューアル」参照。

(8)	環境活動事業費 9款2項3目	本年度	前年度	差引	本年度財源内訳			
					国・県	市債	その他	一般
		千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
		320,231	314,135	6,096	6,738	—	16,319	297,174

自然に親しむ環境づくりや人材育成、緑や花の創出等を推進します。こうした取組を連動させ、ガーデンシティ横浜を推進します。また、市民や企業の環境に対する意識を高め、具体的な環境行動や生物多様性への理解に繋がるよう、普及啓発及び企画事業を展開します。

1 自然観察の森運営等事業 37,092千円(33,663千円)

横浜自然観察の森は、指定管理者制度により、観察会・研修会・環境調査等の運営と自然観察センターやトイレなどの施設や森の維持管理を一体的に実施し、市民が安全で快適に自然に親しむ環境づくりを進めます。

2 環境活動支援センター管理運営費 23,275千円(22,546千円)

横浜みどりアップ計画や横浜都市農業推進プランを推進する上で重要な森を育む人材や農の担い手を育成する場として、緑に関するボランティア活動への支援や、新規就農を希望する市民を対象とした研修を実施します。また、環境活動支援センター内のほ場、温室等の施設を適正に維持管理します。

- (1) 環境活動支援センターの管理・運営
- (2) 横浜チャレンジファーマー支援事業

3 ☆ガーデンシティ事業 225,866千円(216,720千円)

ガーデンシティ横浜を推進する取組として、「ガーデンネックレス横浜2025」を実施します。

- (1) 都心臨海部：サクラ、チューリップ、バラの花のリレーに合わせて、山下公園、港の見える丘公園などを中心に、多様な主体との連携の輪を更に広げ、花と緑による魅力形成や賑わいを創出します。さらに、横浜フラワー&ガーデンフェスティバル2025の開催なども通して、外国人観光客を含め、幅広い世代の皆様に花緑・環境を感じていただき2027年の国際園芸博覧会の盛上がりにつなげます。

(2) 里山ガーデン：「里山ガーデンフェスタ」の運営（春、秋）

(3) 全市・地域展開：各種メディアやマスコットキャラクター「ガーデンベア」等を活用した広報、プロモーションの実施等

4 環境にやさしいライフスタイル推進事業 4,976千円(4,439千円)

市民が環境に関心を持ち、環境にやさしい行動を継続して実践していただけるよう、市民参加型の「エシカル消費キャンペーン」、小学生が家庭・地域での環境行動に取り組む「こども『エコ活。』大作戦！」など、企業等と連携した取組を実施します。

5 生物多様性保全推進事業 29,022千円(36,767千円)

市内の多様な自然環境を生かしながら、環境教育出前講座の実施や、市民団体・企業・学校等の表彰により環境活動を支援するなど、生物多様性への理解や環境行動の促進のため、様々な企業・関係機関等との連携により普及啓発を実施します。

また、外来生物を含め野生鳥獣による生活被害等に対して、捕獲や回収などの対策を実施します。

(9)	公園緑地整備費 9款2項4目	本年度 千円 <12,369,163> 11,619,163	前年度 千円 <13,554,144> 13,054,144	差引 千円 <△1,184,981> △1,434,981	本年度財源内訳			
					国・県 千円	市債 千円 <6,109,000> 5,653,000	その他 千円 17,277	一般 千円 <4,139,409> 3,845,409

※本年度◇内は、令和7年度当初予算と令和6年度2月補正予算(令和7年度予算の前倒し)の合計額
前年度◇内は、令和6年度当初予算と令和5年度12月補正予算(令和6年度予算の前倒し)の合計額

11,874,163千円

11,374,163千円(13,039,144千円)

6,585,027千円

6,389,827千円(7,486,549千円)

(1) 施設修繕

- 遊具やベンチ、舗装、柵、照明などの公園施設を点検結果や耐用年数に応じて修繕
- 市民要望等を踏まえた段差解消などのバリアフリー化、トイレの改修 など

(2) 公園のかけ地等施設安全対策

408,000千円(286,000千円)

- 陣ヶ下渓谷公園：法面防災工事、詳細設計
- 小菅ヶ谷北公園：法面防災工事
- 野島公園：護岸改修工事、詳細設計 など

1,559,045千円

1,254,245千円(1,259,621千円)

(3) 新設・再整備等

主な整備箇所

ア 新設整備

- 六ツ川中央公園（拡張部）：広場整備
- 二ツ池公園（拡張部）：実施設計等
- 横浜動物の森公園：中央道路設計・樹木伐採等の基盤整備 など

イ 再整備

- 本牧市民公園：インクルーシブ遊具等の設計
- 新田緑道：緑道南側の実施設計、整備工事
- 三ツ沢公園：球技場を含む公園再整備の検討 など

(4) 土地利用転換に対応した大規模な公園の整備・事業推進 1,311,760千円(1,673,500千円)

- 舞岡八幡山しぜん公園：スケボーアー広場の造成、管理棟の整備工事
- 小柴自然公園：大型タンク埋め戻し等の基盤整備工事、レストハウス実施設計
- (仮称) 深谷通信所跡地公園：環境影響評価、都市計画決定手続 など

(5) 周辺のまちづくりと連携した公園リニューアル

344,000千円(250,000千円)

主な整備箇所

- 野毛山動物園：動物展示等複合施設「(仮称) ズーペリエンタ！センター」等の建築設計、公園全体の造園設計、地質調査等

・大通り公園：リニューアルに向けた基本設計（阪東橋駅側5ブロック）
※駅内駅側3ブロックはPark-PFI事業によりリニューアル

- 山下公園：山下公園通りと一体となった歩行・休憩空間の設計、夜間景観の演出のための照明の設計・整備等

(6) 公園用地取得	666,331 千円(1,083,474 千円)
土地所有者に不測の事態等が発生したことに対応し、すでに公開されている公園の借地部分 や拡張部などの公園用地を取得します。	
(7) 先行取得用地の有償所管換	1,000,000 千円(1,000,000 千円)
先行取得した公園用地の有償所管換えを進めます。	
2 ◎公園環境整備加速化事業	160,000 千円(一千円)
公園内のトイレの洋式化を進めます。	
こども自然公園、根岸森林公園など	30 棟
※この他、公園整備事業として海の公園、舞岡公園など	14 棟
合計	44 棟
3 ◎公園内歴史的建造物保存活用事業	70,000 千円(一千円)
・旧根岸競馬場一等馬見所：耐震化の実施設計	
・旧野毛山配水池：活用に向けた調査	
4 ◎公園施設 LED 化事業	〈250,000 千円〉(一千円)
公園照明 7,000 灯の LED 化	
5 緑地整備事業	15,000 千円(15,000 千円)
市民の森等の利活用のため、施設改良を行います。	

公園事業の主な整備箇所

行政区	公園名
鶴見	① 貨物線の森緑道 (緑道) ② 二ツ池公園 (風致) ③ 白幡公園 (街区)
神奈川	④ 三ツ沢公園 (運動) ⑤ 菅田公園 (街区) ⑥ 大口西公園 (街区) ⑦ 織茂公園 (街区)
西	⑧ 野毛山動物園 (総合) ⑨ 境之谷公園 (近隣)
中	⑩ 港の見える丘公園 (拡張部) (風致) ⑪ 本牧市民公園 (総合)
南	⑫ 六ツ川中央公園 (拡張部) (近隣) ⑬ 宿の前公園 (街区) ⑭ 別所中里台公園 (街区)
港南	⑮ 下野庭公園 (街区)
保土ヶ谷	⑯ 陣ヶ下渓谷公園 (風致) ⑰ 初音ヶ丘緑地 (都市緑地) ⑱ 上星川あおぞら公園 (近隣) ⑲ 仏向矢シ塚公園 (近隣) ⑳ 濱戸ヶ谷董公園 (街区) ㉑ 濱戸ヶ谷紫陽花公園 (街区) ㉒ 濱戸ヶ谷つつじ公園 (街区)
旭	㉓ たちばなの丘公園 (総合) ㉔ 横浜動物の森公園 (広域) ㉕ 川井本町公園 (街区) ㉖ 本宿町第二公園 (街区) ㉗ 上白根長坂公園 (街区)

磯子	㉙ (仮称) 根岸馬場町の丘公園 ㉚ 森みはらし公園	(近隣) (街区)
金沢	㉛ 小柴自然公園 ㉜ 野島公園 ㉝ 金沢八景権現山公園	(広域) (総合) (風致)
港北	㉞ (仮称) 篠原園地 ㉟ 綱島公園 ㉟ 新田緑道	(近隣) (近隣) (緑道)
緑	㉟ 新治里山公園	(総合)
青葉	㉛ 嶺山公園 ㉛ あざみ野四丁目北公園 ㉛ 奈良五丁目駒狩公園	(近隣) (街区) (街区)
都筑	㉛ 仲町台うさぎ公園 ㉛ 平台くりのみ公園	(街区) (街区)
戸塚	㉛ 舞岡八幡山しぜん公園	(総合)
栄	㉛ 小菅ヶ谷北公園	(風致)
泉	㉛ (仮称) 深谷通信所跡地公園 ㉛ 中田中央公園 (拡張部)	(運動) (地区)
瀬谷	㉛ 宮沢町第二公園 (プール)	(街区)

(10)	農政推進費 9款3項1目	本年度 千円	前年度 千円	差引 千円	本年度財源内訳			
					国・県 千円	市債 千円	その他 千円	一般 千円
		412,155	<456,870> 394,870	17,285	29,427	24,000	2,689	356,039

※前年度<>内は、令和6年度当初予算と令和5年度2月補正予算(令和6年度予算の前倒し)の合計額

農業生産基盤の整備を支援するとともに、地域の特徴を生かした農業振興策の策定に取り組みます。また、新規就農者への支援や農地の保全を進め、持続できる都市農業を推進します。

1 生産環境の整備と支援事業

130,175千円(105,095千円)

農業生産性の向上とともに農の持つ多面的機能が発揮される都市農業を推進するため、農業生産基盤の整備支援を進めます。また、ふるさと村総合案内所の管理運営を支援します。

(1) 農業専用地区事業	200千円(200千円)
(2) ☆生産基盤整備事業	100,000千円(63,564千円)
(3) ふるさと村運営事業	21,661千円(22,798千円)
(4) 農道等移管事業	7,266千円(7,079千円)
(5) 地域の特性に応じた農業振興策の推進事業	1,048千円(11,454千円)

2 農政推進事業

55,221千円(54,601千円)

(1) 農政推進事業	44,707千円(42,847千円)
都市農業の推進に関わる各種計画の進捗管理を行います。また、新規就農者等の支援や農福連携の啓発活動の支援に取り組みます。	

(2) 農地関連事業	1,116千円(1,325千円)
耕作できなくなった農地と規模拡大したい農家を結ぶ農地マッチング事業や農地中間管理事業等を活用して遊休農地の発生を抑制し、意欲ある担い手への農地の集約化を行います。また、農地法に基づく農地転用許可等について、必要な手続を行います。	

(3) 農地の保全制度事業	9,398千円(10,429千円)
生産緑地の指定拡大に加え、特定生産緑地の指定を推進するとともに、市街化区域・市街化調整区域内の優良な農地の保全や土地利用調整等を進めます。	

3 農業委員会関連運営

193,988千円(200,739千円)

市内の2農業委員会において農業者を代表する行政委員会として、農地の適切な利用や地域農業の振興のため、農地法に基づく申請等の審議や農地の利用促進に向けた調整を行います。

4 漁港関連事業

12,683千円(13,440千円)

漁港管理者として、柴・金沢漁港区域を適切に管理し、豊かな海づくりを推進するため、海辺環境の向上に努めます。また、海岸保全基本計画や横浜市地震防災戦略に基づいた、漁港区域における津波・高潮対策として、海岸保全施設整備の具体化に向けた検討調査等を進めます。

5 旧上瀬谷通信施設農業関連事業

20,088千円(20,995千円)

将来のまちづくり検討にあわせて農業生産基盤の整備内容や農業振興策の検討を進めるとともに、将来も営農を継続される担い手に対して、安定した農産物の生産及び高収益化を図るための支援を行います。また、農業の高収益化や新技術の活用などについて、企業や大学等とも連携し、新しい上瀬谷の農業の確立を目指した取組を進めます。

(11)	農業振興費 9款3項2目	本年度	前年度	差引	本年度財源内訳			
					国・県	市債	その他	一般
		千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
		93,635	87,445	6,190	—	—	32,021	61,614

持続できる横浜型の都市農業を推進するために、農業経営の安定化・効率化に向けた農業振興を推進するとともに、意欲的に農業に取り組む担い手など、横浜の農業を支える多様な担い手の育成・支援を実施します。

1 市内産農畜産物の生産振興事業 20,598千円(20,888千円)

(1) スマート農業技術の活用

ICT（情報通信技術）を活用した栽培環境の制御などのスマート農業技術の導入や普及に向けた支援をすることにより、高収益・高品質な農畜産物の生産を進め、農業経営の安定化、効率化を推進します。

(2) 環境への負荷を軽減した農業の推進

4,820千円(5,650千円)

農業者に対し、土づくりや施肥、病害虫防除などに関する情報提供や研修を行うことにより、環境に配慮した農業を推進します。また、農地に隣接する住宅等の周辺環境に配慮した取組に必要な農業施設等の設置を支援します。

(3) 畜産の振興

5,801千円(5,801千円)

畜舎の環境対策や優良な家畜の導入などを支援するとともに、県等と連携した家畜防疫対策の指導等、家畜伝染病の発生等を防止する取組を行います。

また、市内で飼養されている繁殖豚・育成豚を対象に、豚熱ワクチンの接種費用の一部を補助します。

(4) 下水道資源を活用したスマート農業実証事業

4,600千円(4,100千円)

農業用ハウスでスマート農業機器を利用した栽培実証実験を進めます。

2 農業の担い手支援事業 40,037千円(66,557千円)

(1) 農業の担い手の育成・支援

8,843千円(15,363千円)

意欲的に農業に取り組む担い手を横浜型担い手（認定農業者、よこはま・ゆめ・ファーマー、環境保全型農業推進者）として認定し、研修の支援等により農業者の技術・経営力の向上を図ります。

(2) 農業経営の安定対策

31,194千円(51,194千円)

農業経営に要する運転資金の融資や国・県の制度による融資に伴う利子補給等により、農業者の負担を軽減することで農業経営の安定化を図ります。

また、国が実施する野菜生産価格安定対策事業に参加する農業者団体（農業協同組合）に対しても助成し、市内産野菜の計画生産・出荷と経営安定を図ります。

3 ◎農体験機会の創出事業

33,000千円(一千円)

子育て世帯をターゲットに気軽に農体験機会の創出と農体験や農に親しむことのできる取組の情報を一元的に提供するウェブサイトの構築等を進めます。

(12)	環境保全事業費 9款4項1目	本年度	前年度	差引	本年度財源内訳			
					国・県	市債	その他	一般
		千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
		399,100	375,096	24,004	286	—	13,294	385,520

市民生活や事業活動の基盤となる良好な環境を守るため、環境法令等に基づき、身近な環境状況の監視並びに大気汚染、水質汚濁、土壤・地下水汚染及び地盤沈下の防止、騒音・振動等の各種対策を行います。また、環境影響評価制度の適切な運用により大規模な事業を実施する事業者自らの取組を促します。

1 環境影響評価審査事務費	7,209千円(6,809千円)
環境に配慮した事業とするため、事業者自らが事前に調査、予測及び評価を行い、その結果を公表して、市民の意見を聴くなどの手続を定めた環境影響評価制度を運用します。	
2 良好な大気・音・水・土壤環境の確保	373,884千円(358,856千円)
(1) 環境状況の把握と情報発信・共有	270,328千円(265,834千円)
ア 大気水質常時監視事業	195,938千円(198,844千円)
微小粒子状物質（PM2.5）をはじめ、大気環境の状況を27測定局で常時監視するとともに、大気中の放射線量を継続的に測定し、その結果をウェブサイト等で公表します。	
イ 環境測定事業	74,390千円(66,990千円)
大気分析・ダイオキシン類調査、河川・海域等の水質調査、道路・鉄道の騒音の環境調査及び測定を行います。	
(2) 大気汚染、騒音、水質汚濁、土壤汚染等に関する事業所への規制・指導	103,556千円(93,022千円)
ア 環境管理事業	21,694千円(13,605千円)
横浜市生活環境の保全等に関する条例に基づき、指定事業所に係る許可等を行うとともに、環境情報管理システムの整備・運用を行います。また、事業者と環境情報の共有や環境保全協定の運用など、積極的な対話を通して環境保全対策に連携して取り組みます。	
イ 大気規制指導事業等	30,429千円(31,188千円)
大気汚染防止法・ダイオキシン類対策特別措置法等に基づき、事業所への立入調査、ばい煙等の排ガスの採取・分析及び規制・指導を行います。	
ウ 水質規制指導事業等	31,821千円(30,103千円)
水質汚濁防止法等に基づき、事業所への立入調査、排水等の採取・分析及び規制・指導を行います。	
エ 土壤対策規制指導事業	19,612千円(18,126千円)
土壤汚染対策法等に基づき、立入調査や規制・指導を行うとともに、市内の地盤沈下を監視するため、主に軟弱地盤地域の精密水準測量を行います。	
3 身近な生活環境の保全	18,007千円(9,431千円)
(1) 騒音・悪臭等の相談対応	6,034千円(6,063千円)
市民から寄せられる大気汚染・悪臭・騒音・振動・水質汚濁等の公害に関する相談等に迅速かつ適切に対応するため、必要な調査や測定等を行い、その結果に応じて発生源に対して指導を行います。	
(2) ☆身近な生活環境の保全に向けたプロモーション等の推進	11,973千円(3,368千円)
ア 環境負荷の低減や環境汚染の未然防止に向け、事業者と共に取り組んでいる環境保全対策について発信する等、市民に一層の関心をもっていただくとともに、事業者の更なる取組を後押しする環境保全プロモーションを展開します。	

イ みずしるべ（水辺のすこやかさ指標）調査を市民団体等と連携して実施し、水環境保全に関する普及啓発を推進します。

ウ 解体等工事に伴うアスベスト飛散防止に関する啓発を行うとともに、中小企業が土壤汚染対策を円滑に進めるよう出前講座等を行います。

エ 九都県市などで連携し、東京湾の水質改善や光化学スモッグ対策などに取り組みます。

(13)	環境科学研究費 9款4項2目	本年度 千円 198,826	前年度 千円 181,261	差引 千円 17,565	本年度財源内訳			
					国・県 千円 1,300	市債 千円 —	その他 千円 18,234	一般 千円 179,292

横浜市環境管理計画に基づき、環境行政の基盤となる科学的な調査研究等を実施します。

1	試験検査・環境危機管理対策事業	10,769千円(10,127千円)
工場排水や大気環境中の有害化学物質、アスベスト等の試験検査、放射能測定、地盤沈下の観測及び緊急的な水質事故や異臭等の分析を行います。		
2	調査研究	21,110千円(12,657千円)
(1)	生物多様性保全推進事業調査費	12,977千円(9,872千円)
	陸域・水域の生き物調査等を行います。	
(2)	☆豊かな海づくり事業	7,050千円(1,891千円)
	生物による水質浄化に関するモニタリング調査等を実施し、生物生息状況の改善効果の確認等を行います。また、 <u>市民が海に親しむきっかけづくりとなる動画やリーフレットを作成するなど、普及啓発を行います。</u>	
(3)	都市の暑さ対策調査研究事業	1,083千円(894千円)
	市内の気温観測（36地点）のほか、市民の快適空間創造のための熱環境調査を行います。	
3	管理運営	166,947千円(158,477千円)
	調査研究、試験検査等に必要な試験検査機器の計画的、効率的な維持管理及び整備を行います。また、環境科学研究所の施設を効率的に管理運営します。	

(14)	みどり保全創造事業費 会計繰出金 19款1項12目	本年度 千円 3,567,690	前年度 千円 3,600,064	差引 千円 △32,374	本年度財源内訳			
					国・県 千円 —	市債 千円 —	その他 千円 —	一般 千円 3,567,690

横浜みどりアップ計画[2024-2028]のうち、一般会計で負担することとされている事業経費等をみどり保全創造事業費会計へ繰出金として支出するものです。

1 みどり保全創造事業費会計繰出金	3,567,690千円(3,600,064千円)
-------------------	--------------------------

みどり保全創造事業費会計

(特別会計)

■ 基金及び特別会計について

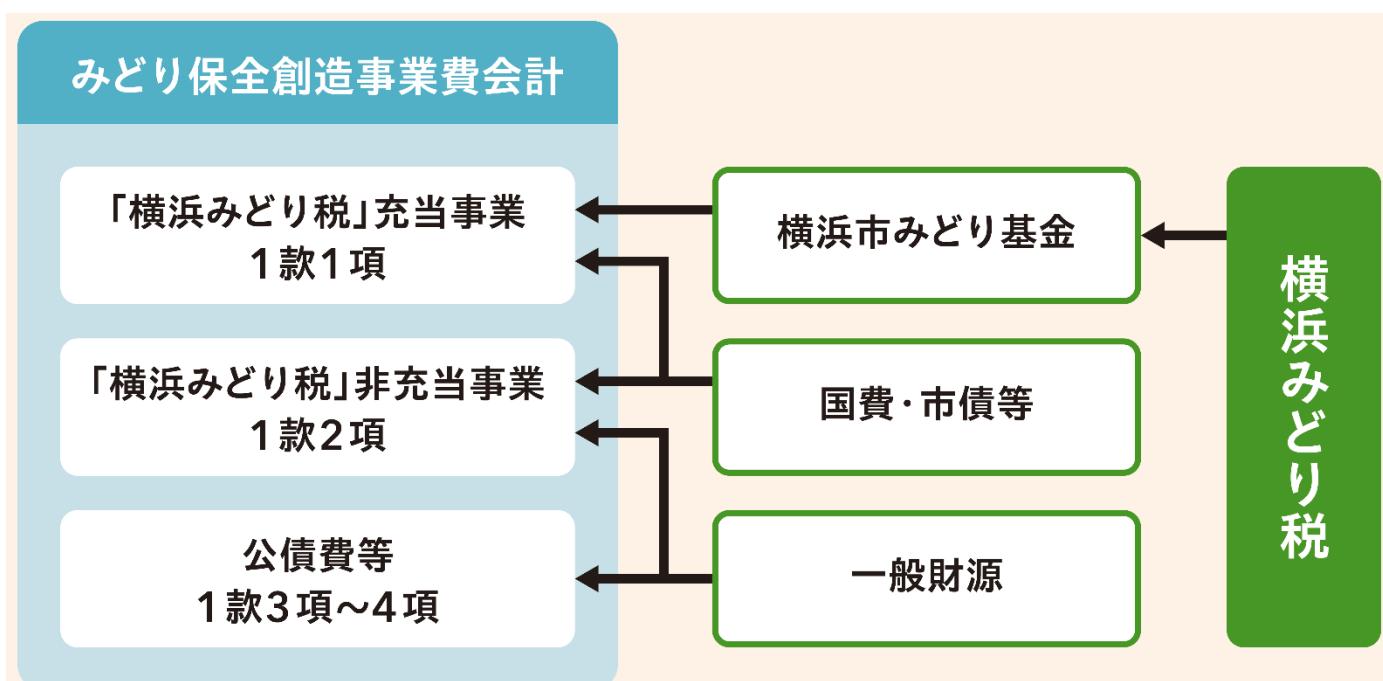
基金（横浜市みどり基金）

横浜みどり税は、市民税の超過課税の形でご負担をお願いするものですが、その税収の使途は横浜みどりアップ計画に限定されます。そこで、この税収を管理する基金を設置することにより、他の一般財源から明確に分離するとともに、年度間の財源調整も行います。

特別会計（みどり保全創造事業費会計）

横浜みどり税の使途を明確にするためには、横浜みどり税を充当して実施する事業のみならず、横浜みどりアップ計画全体について、その内容や進捗状況を他の施策と分離して明らかにしていく必要があります。そこで、横浜みどり税非充当事業（既存事業費等）を含めた横浜みどりアップ計画全体を対象とする特別会計により、横浜みどり税の使途を明確にします。

■ みどり保全創造事業費会計（特別会計）の財源について



■ みどり税の使途

横浜みどり税の使途は、次の4項目に整理しています。

- ・樹林地・農地の確実な担保
- ・身近な緑化の推進
- ・維持管理の充実によるみどりの質の向上
- ・ボランティアなど市民参画の促進につながる事業

〈みどり保全創造事業費会計予算総括表〉

(歳出)

区分	本年度	前年度	増△減	増減率
1款 みどり保全創造事業費	千円 12,679,434	千円 10,859,410	千円 1,820,024	% 16.8
1項 みどり保全創造事業費	6,886,080	5,463,041	1,423,039	26.0
1目 樹林地保全創造費	5,315,962	3,682,176	1,633,786	44.4
2目 都市農地保全費	594,930	821,350	△ 226,420	△ 27.6
3目 緑化推進創造費	975,188	959,515	15,673	1.6
2項 みどり保全事業費	3,468,484	3,038,348	430,136	14.2
1目 樹林地保全費	2,567,393	2,274,288	293,105	12.9
2目 都市農業育成費	299,063	243,525	55,538	22.8
3目 緑化推進費	586,650	505,400	81,250	16.1
4目 広報推進費	15,378	15,135	243	1.6
3項 基金積立金	2,000	2,000	0	0.0
1目 みどり基金積立金	2,000	2,000	0	0.0
4項 公債費	2,321,870	2,355,021	△ 33,151	△ 1.4
1目 元金	1,997,594	2,049,601	△ 52,007	△ 2.5
2目 利子	284,661	261,033	23,628	9.1
3目 公債諸費	39,615	44,387	△ 4,772	△ 10.8
5項 予備費	1,000	1,000	0	0.0
1目 予備費	1,000	1,000	0	0.0
計	12,679,434	10,859,410	1,820,024	16.8

(歳入)

区分	本年度	前年度	増△減	増減率
1款 使用料及び手数料	千円 2,622	千円 2,621	千円 1	% 0.0
2款 国庫支出金	1,533,200	1,137,040	396,160	34.8
3款 県支出金	155	150	5	3.3
4款 財産収入	2,000	2,000	0	0.0
5款 繰入金	6,733,218	6,829,884	△ 96,666	△ 1.4
一般会計繰入金	3,567,690	3,600,064	△ 32,374	△ 0.9
みどり基金繰入金	3,165,528	3,229,820	△ 64,292	△ 2.0
6款 諸収入	5,239	6,715	△ 1,476	△ 22.0
7款 市債	4,403,000	2,881,000	1,522,000	52.8
計	12,679,434	10,859,410	1,820,024	16.8

■ 横浜みどりアップ計画の推進

市民生活の身近な場所にある樹林地や農地などの多様な緑を次世代に引き継ぐため、これまでの取組の成果などを踏まえ、「横浜みどり税」を財源の一部に活用した「横浜みどりアップ計画[2024-2028]」を推進します。

■ 事業費一覧(公債費等を除く)

(単位:百万円)

事業と取組	主な取組内容と事業量	総額	みどり税充当		みどり税非充当 事業費
			事業費	(内みどり税)	
取組の柱1 市民とともに次世代につなぐ森を育む		7,883	5,316	(1,894)	2,567
①緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り事業		6,625	4,104	(688)	2,522
緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り	樹林地の新規指定：36ha 樹林地の買取：20ha	6,625	4,104	(688)	2,522
②良好な森の育成事業		1,159	1,154	(1,148)	4
森の多様な機能に着目した森づくりの推進	森の維持管理：推進	983	979	(972)	4
指定した樹林地における維持管理の支援	維持管理の助成：150件	176	176	(176)	0
③森に関わる多様な機会の創出事業		99	58	(58)	41
森づくりを担う人材の育成	森づくりを担う人材の育成：推進 広報誌等での森づくり活動に関する情報発信：4回	14	14	(14)	0
森づくり活動団体への支援	森づくり活動団体への支援：30団体 森づくり活動団体への専門家派遣：推進 チッパー貸出し：推進	17	16	(16)	1
森に関わるきっかけづくり	市内大学や関係団体などと連携したイベントや、区主催による地域の森でのイベント等の実施：36回	62	22	(22)	40
森の多様な楽しみづくり	地域における森の多様な利活用：推進	6	6	(6)	0
取組の柱2 市民が身近に農を感じる場をつくる		894	595	(295)	299
①良好な農景観の保全事業		266	89	(89)	177
水田の保全	水田保全面積：115ha 水源確保施設・水路の整備：5件	113	53	(53)	60
特定農業用施設保全契約の締結	制度運用	3	0	(0)	3
農景観を良好に維持する活動の支援	集団農地維持活動団体：60団体 農地縁辺部への植栽：15件 農景観保全整備：8件 緑肥作物等による環境対策：4ha 共同利用設備等の支援：5件	132	18	(18)	114
多様な主体による農地の利用促進	遊休農地の復元支援：0.6ha	18	18	(18)	0
②農とふれあう場づくり事業		557	506	(206)	51
様々な市民ニーズに合わせた農園の開設	様々な市民ニーズに合わせた農園の開設 【内訳】 収穫体験農園：2.0ha 市民農園：1.0ha 農園付公園：0.9ha	511	506	(206)	5
市民が農を楽しみ支援する取組の推進	横浜ふるさと村、恵みの里等で農体験教室などの実施：90回 農のコーディネーター派遣：10件 市民農業大学講座：35回 家族で学ぶ農体験講座の開催：6回	45	0	(0)	45

(単位：百万円)

事業と取組	主な取組内容と事業量	総額	みどり税充当		みどり税非充当
			事業費	(内みどり税)	事業費
③身近に農を感じる地産地消の推進事業		57	0	(0)	57
地産地消にふれる機会の拡大	直売所・青空市等の支援：57件 緑化用苗木等の配布：25,000鉢 情報発信・PR活動（情報誌などの発行）：7回	57	0	(0)	57
④市民や企業と連携した地産地消の展開事業		14	0	(0)	14
地産地消を広げる人材の育成・支援	はまふうどコンシェルジュの活動支援等：30件 地産地消ネットワーク交流会の開催：1回	4	0	(0)	4
市民や企業等との連携	市民や企業等との連携：15件 学校給食での市内産農産物の一斉供給：推進 料理コンクールの開催：1回	10	0	(0)	10
取組の柱3 市民が実感できる緑や花をつくる		1,562	975	(975)	587
①まちなかでの緑の創出・育成事業		639	565	(565)	75
シンボル的な緑の創出・育成	緑の創出：5か所（5か年の目標） 緑の維持管理：推進	107	39	(39)	68
街路樹による良好な景観づくり	18区で推進	492	492	(492)	0
公開性のある緑空間の創出支援	推進	22	18	(18)	4
建築物緑化保全契約の締結	制度運用	1	0	(0)	1
名木古木の保存	推進	18	16	(16)	2
②緑や花あふれる地域づくり事業		241	117	(117)	123
地域緑のまちづくり	新規：3地区 その他：4地区	102	102	(102)	0
地域に根差した緑や花の楽しみづくり	緑や花を身近に感じる各区の取組：18区で推進	115	0	(0)	115
人生記念樹の配布	8,000本配布	24	15	(15)	9
③子どもを育む空間での緑の創出・育成事業		87	15	(15)	72
保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出・育成	緑の創出：20か所 芝生等の維持管理：推進	87	15	(15)	72
④緑や花による魅力・賑わいの創出・育成事業		594	278	(278)	316
都心臨海部等の緑花による魅力ある空間づくり	緑花による魅力ある空間づくり：推進	594	278	(278)	316
効果的な広報の展開		15	0	(0)	15
①市民の理解を広げる広報の展開事業		15	0	(0)	15
—	—	15	0	(0)	15
総計		10,355	6,886	(3,165)	3,468

※四捨五入の関係により、合計が一致しないことがあります。

債務負担行為

新たに債務負担行為をするもの

事　　項	期　　間	限　　度	額
緑地施設修繕工事請負契約	令和8年度	限　度　額	11,000 千円
新吉田東四丁目農園付公園 (仮称) 施設整備工事請負契約	令和8年度	限　度　額	260,000 千円
長津田町深田農園付公園 (仮称) 基盤整備工事請負契約	令和8年度	限　度　額	330,000 千円

(1)	樹林地保全創造費 (横浜みどり税充当) 1款1項1目	本年度	前年度	差引	本年度財源内訳			
					国・県	市債	その他	一般
		千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
		5,315,962	3,682,176	1,633,786	823,100	2,592,000	1,900,862	—

緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り、市民の森等や都市公園内のまとまった樹林を対象とした保全管理計画に基づく森づくりの推進、緑地保全制度により指定された樹林地における維持管理の支援、森に関するイベントや講座の実施などを行います。

1 まとまりのある樹林地の保全・活用

5,315,962千円(3,682,176千円)

(1) 緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り事業

4,103,546千円(2,619,393千円)

ア 緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り

4,103,546千円(2,619,393千円)

緑地保全制度の地区指定を積極的に進めるとともに、特別緑地保全地区等の指定地で、土地所有者の不測の事態等による買入れ申し出に対応します。

・新規指定面積： 36ha (1款2項1目と合わせた面積)

・買取想定面積： 20ha (1款2項1目と合わせた面積)

・保全した樹林地の整備 (初期整備、樹林地の施設改良、法面の安全対策)

(2) 良好的な森の育成事業

1,154,445千円(1,005,774千円)

ア 森の多様な機能に着目した森づくりの推進

978,595千円(830,274千円)

市有樹林地及び都市公園内のまとまった樹林を対象に、生物多様性の保全、快適性の確保、良好な景観形成など森が持つ多様な機能が発揮できるように、利用者や樹林地周辺の安全にも配慮しながら、良好な森づくりを進めます。

イ 指定した樹林地における維持管理の支援

175,850千円(175,500千円)

緑地保全制度により指定した樹林地において、土地所有者が行う樹林地外周部の危険・支障樹木のせん定・伐採や草刈りなどの維持管理作業等の費用、樹林地内部の倒木や枯木の撤去処分、不法投棄防止のためのフェンス設置、土留めの設置費用の一部を助成します。風水雪害による被害を受けた際に所有者が行う倒木の除去作業や処分にかかる費用の一部を助成します。

・維持管理の助成：150件

(うち20件は風水雪害による被害に対する助成を想定)

(3) 森に関わる多様な機会の創出事業

57,971千円(57,009千円)

ア 森づくりを担う人材の育成

14,180千円(14,370千円)

イ 森づくり活動団体への支援

15,531千円(13,454千円)

・森づくり活動団体への支援：30団体

・チッパーの貸出しと間伐材を活用した樹名板作成

ウ 森に関わるきっかけづくり

22,150千円(23,675千円)

横浜の森について理解を深め、森づくり活動などへの参加にもつなげていくため、各区や大学などと連携したイベントや講座の開催、小学校と連携し森を活用した体験学習、さらに市民が気軽に森を訪れ、楽しむ環境づくりのため、市民の森・ふれあいの樹林のガイドマップの作成等の情報発信を行います。

・イベントの実施及び広報活動：36回

エ 森の多様な楽しみづくり

6,110千円(5,510千円)

保全した森を、「市民の森」として開園し、自然に親しみ、憩える場として活用しています。また、地域における多様な森の利活用を進めます。

(2)	都 市 農 地 保 全 費 (横浜みどり税充当) 1 款 1 項 2 目	本年度	前年度	差引	本年度財源内訳			
					国・県	市債	その他	一般
		千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
		594,930	821,350	△226,420	—	300,000	294,930	—

景観形成や生物多様性の保全、雨水貯留などのグリーンインフラとしての農地が持つ環境面での役割に着目した「良好な農景観の保全」や、「農とふれあう場づくり」を重点的に展開し、市民が身近に農を感じる場をつくります。

1 農に親しむ取組の推進

(1) 良好な農景観の保全事業

ア 水田の保全

土地所有者が水田を維持し、水田景観の保全や多様な機能が發揮できるよう、水稻作付を10年間継続することを条件に奨励金を交付します。また、水田の維持・拡大を目指す耕作者への維持管理支援を行います。

- ・水田保全面積：115.0ha

イ 農景観を良好に維持する活動の支援

18,200千円(13,300千円)

周辺環境と調和した良好な農景観の維持を図るため、農地周辺の不法投棄対策として、夜間警備のパトロール等を実施します。また、緑肥作物等の栽培を奨励し、農地からの土ぼこりの発生防止を図ります。

- ・緑肥作物等栽培奨励：4.0ha

ウ 多様な主体による農地の利用促進

17,530千円(18,850千円)

意欲ある農家や新規参入者など多様な主体へ農地を貸し付けて、農地の保全につながるよう、6年間以上の貸借設定をしている農地所有者に奨励金を交付します。また、遊休化している農地の復元を支援します。

- ・農地の長期貸付により保全されている農地：3ha
- ・遊休農地の復元：0.6ha

(2) 農とふれあう場づくり事業

506,000千円(742,000千円)

ア 様々な市民ニーズに合わせた農園の開設

506,000千円(742,000千円)

- ・野菜の収穫や果物のもぎとりなどを気軽に体験することができる収穫体験農園の開設に必要な施設整備等を支援します。

収穫体験農園の開設支援：2.0ha

- ・土地所有者による維持管理が難しくなった農地等を、市が買い取るなどして、市民が農作業を楽しめる農園を主とした都市公園を整備します。また、都心部において、公園内での農園整備の検討を進めます。

農園付公園の開設：0.9ha（設計及び工事）

なお、利用者が農家から指導を受けることができる「栽培収穫体験ファーム」や、児童が農家から野菜や米づくりを学ぶ「環境学習農園」、また、利用者が自由に農作業を楽しめる「認定市民菜園」などの多様な市民農園の開設の支援については、1款2項2目の都市農業育成費（横浜みどり税非充当事業）で対応します。

(3)	緑化推進 創造費 (横浜みどり税充当) 1款1項3目	本年度	前年度	差引	本年度財源内訳			
					国・県	市債	その他	一般
		千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
		975,188	959,515	15,673	—	—	975,188	—

緑があふれる都市で暮らす豊かさを市民が「実感」できるよう、市民生活の身近な場所や多くの人が訪れる場所で、地域の良好な景観形成や賑わい創出につながる緑の創出・支援を推進します。

1 市民が実感できる緑や花の創出・育成	564,760千円(557,460千円)
(1) まちなかでの緑の創出・育成事業	564,760千円(557,460千円)
ア シンボル的な緑の創出・育成	39,200千円(63,500千円)
多くの市民の目にふれる場所で、緑豊かな空間を創出し、良好に育成します。	
イ 街路樹による良好な景観づくり	491,600千円(460,000千円)
駅周辺や各区の主要な路線を中心に、多くの市民の目にふれ、街並みの美観向上に寄与する街路樹を良好に育成します。また、地域で愛されている桜並木等の再生を行います。これらを通して、街路樹による良好な景観づくりを推進します。	
ウ 公開性のある緑空間の創出支援	18,000千円(18,000千円)
多くの人が訪れる場所における、公開性のある緑化などを行う市民・事業者に対し、その費用の一部を助成します。	
エ 名木古木の保存	15,960千円(15,960千円)
地域住民に古くから町の象徴として親しまれ、故事、来歴等のある樹木を保存すべき樹木として指定します。また、指定木の維持管理に必要な費用の一部を助成します。	
2 ガーデンシティ横浜の更なる推進	410,428千円(402,055千円)
(1) 緑や花があふれる地域づくり事業	117,428千円(117,055千円)
ア 地域緑のまちづくり	102,028千円(105,655千円)
地域が主体となり、住宅街や商店街、オフィス街、工場地帯など様々な街で、地域にふさわしい緑を創出する計画をつくり、計画を実現していくための取組を支援します。	
イ 人生記念樹の配布	15,400千円(11,400千円)
人生の節目の記念に希望した市民を対象に苗木を配布することで、市民が緑に対する愛着を深め、植樹することにより都市緑化の推進に寄与します。	
(2) 子どもを育む空間での緑の創出・育成事業	15,000千円(15,000千円)
ア 保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出・育成	15,000千円(15,000千円)
・緑の創出(民間)：10か所(1款2項3目で公立保育園、小中学校10か所、計20か所) ・芝生等の維持管理に対する支援	
(3) 緑や花による魅力・賑わいの創出・育成事業	278,000千円(270,000千円)
ア 都心臨海部等の緑花による魅力ある空間づくり	278,000千円(270,000千円)
山下公園などの都心臨海部や多くの市民が訪れる場所で、観光資源となっている公園や港湾緑地、街路樹、文化施設などの公共空間を相互に連携させ、地域や施設の特性に合わせた季節感ある緑や花による場づくりを集中的に展開します。	
あわせて、いつ訪れても緑や花で彩られた魅力ある街を目指し、創出した質の高い緑花を良好に育てます。	

(4)	樹林地保全費 (横浜みどり税非充当) 1 款 2 項 1 目	本年度	前年度	差引	本年度財源内訳			
					国・県	市債	その他	一般
		千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
		2,567,393	2,274,288	293,105	707,255	1,508,000	144	351,994

森のもつ多様な役割に配慮しながら、土地の所有者や地域住民など、市民・事業者とともにその保全や育成をより一層進めます。

緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り、市民の森等を対象とした保全管理計画に基づく森づくりの推進、ウェルカムセンターを活用した森に関する情報発信などを行います。

1 まとまりのある樹林地の保全・活用 2,567,393 千円(2,274,288 千円)

(1) 緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り事業 2,521,624 千円(2,227,199 千円)

ア 緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り 2,521,624 千円(2,227,199 千円)

市内に残る貴重な緑地について、緑地保全制度の地区指定を積極的に進めるとともに、特別緑地保全地区等の指定地で、土地所有者の不測の事態等による買入れ申し出に対応します。

・新規指定面積： 36ha (1 款 1 項 1 目と合わせた面積)

・買取想定面積： 20ha (1 款 1 項 1 目と合わせた面積)

・保全した樹林地の整備 (初期整備、樹林地の施設改良、法面の安全対策)

・緑地保存奨励

(2) 良好な森の育成事業 4,435 千円(4,585 千円)

ア 森の多様な機能に着目した森づくりの推進 4,435 千円(4,585 千円)

市有樹林地及び都市公園内のまとまった樹林を対象に、生物多様性の保全、快適性の確保、良好な景観形成など森が持つ多様な機能が発揮できるように、利用者や樹林地周辺の安全にも配慮しながら、良好な森づくりを進めます。

(3) 森に関わる多様な機会の創出事業 41,334 千円(42,504 千円)

ア 森づくり活動団体への支援 1,000 千円(1,000 千円)

維持管理作業の際に発生した間伐材などを有効活用するための研修を実施します。

イ 森に関わるきっかけづくり 40,334 千円(41,504 千円)

ウェルカムセンターにおける展示解説や自然体験、環境学習の機会の提供等を、企業のCSR活動などと連携しながら実施し、市民が森について理解を深めるための取組を推進します。

ウェルカムセンターでの森のマナーアップにつながるイベント等：10回

ウェルカムセンター 5 館

- ・自然観察センター (横浜自然観察の森) <栄区>
- ・にいはる里山交流センター (新治里山公園) <緑区>
- ・虹の家 (舞岡ふるさと村) <戸塚区>
- ・四季の家 (寺家ふるさと村) <青葉区>
- ・環境活動支援センター 交流スペース<保土ヶ谷区>

(5)	都 市 農 業 育 成 費 (横浜みどり税非充当) 1 款 2 項 2 目	本年度	前年度	差引	本年度財源内訳			
					国・県	市債	その他	一般
		千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
		299,063	243,525	55,538	—	—	1,265	297,798

新鮮で安心な農畜産物の生産のほか、グリーンインフラとしての雨水貯留・浸透等の役割や、レクリエーションなど、多様で公益的な機能を持つ農地を将来にわたって保全するための取組を進めます。また、身近な場所に農地がある横浜の都市農業の特徴を生かし、新鮮な農畜産物を購入できる直売所の開設支援等を通じた地産地消にふれる機会を拡大します。

1 農に親しむ取組の推進

(1) 良好的な農景観の保全事業

ア 水田の保全

良好な水田景観を保全するために、まとまりのある水田がある地区を対象に、水源確保施設や水路等の整備を支援します。

- ・水源確保施設・水路の整備：5 件

イ 特定農業用施設保全契約の締結

2,881 千円(1,961 千円)

農家と横浜市が「所有農地等を 10 年間適正に管理すること」と「農業生産に不可欠な農業用施設を 10 年間継続して利用すること」を契約して、横浜市が当該施設の敷地を「特定農業用施設用地」に指定し、固定資産税・都市計画税を軽減することで、農地の保全を図ります。

ウ 農景観を良好に維持する活動の支援

113,920 千円(87,341 千円)

良好な農景観を形成するため、水路等の清掃活動や農地縁辺部への植栽、水源を確保するための井戸の整備を支援します。また、農地周辺の環境を良好に維持するため、土砂流出の防止対策を支援します。

さらに、せん定枝の堆肥化に必要な共同利用設備等の整備を支援します。

- ・集団農地維持活動団体：60 団体
- ・農地縁辺部への植栽への支援：15 件
- ・農景観保全整備（井戸整備と土砂流出防止対策）：8 件
- ・共同利用設備等の支援：5 件

(2) 農とふれあう場づくり事業

50,661 千円(37,448 千円)

ア 様々な市民ニーズに合わせた農園の開設

5,466 千円(5,340 千円)

利用者が農家から指導を受けることができる「栽培収穫体験ファーム」や、児童が農家から野菜や米づくりを学ぶ「環境学習農園」、また、利用者が自由に農作業を楽しめる「認定市民菜園」など、多様な市民農園の開設を支援します。

- ・市民農園の開設支援：1.0ha

なお、市民の皆様が、野菜の収穫や果物のもぎとりなどを気軽に体験できる「収穫体験農園」や、「農園付公園」は、1 款 1 項 2 目の都市農地保全費（横浜みどり税充当事業）で対応します。

イ 市民が農を楽しみ支援する取組の推進	45,195 千円(32,108 千円)
・「横浜ふるさと村」や「恵みの里」での農体験教室の開催等の取組を推進します。	
農体験教室などの実施支援：90 回	
・市内全域で農体験に関する様々な相談に応じるため、専門知識やスキルを有するコーディネーターを派遣します。	
コーディネーター派遣：10 件	
・市民農業大学講座や家族で学ぶ農体験講座を開催し、市民が栽培技術などを学ぶ場を提供します。	
市民農業大学講座の開催：1 年次 35 回、2 年次 10 回	
家族で学ぶ農体験講座の開催：6 回	
 2 「横浜農場」の展開による地産地消の推進	71,666 千円(57,866 千円)
(1) 身近に農を感じる地産地消の推進事業	57,200 千円(47,600 千円)
ア ◎地産地消にふれる機会の拡大	57,200 千円(47,600 千円)
・直売所や加工所に必要な設備の導入や運営を支援します。また、市民が楽しみながら農畜産物を購入できる青空市やマルシェの開催等を支援します。	
直売所等の支援：17 件、青空市・マルシェ等の開催支援：40 件	
・市内産の苗木や花苗を市民への配布や公共施設、農地の縁辺部への植栽に活用し、市民が市内産の植木や草花に親しめる機会を創出します。	
緑化用苗木等の生産・配布：25,000 鉢	
・情報誌などの制作・発行や地産地消に関する区局等での取組支援、横浜の農を PR するイベントの実施など、市民が地産地消を身近に感じられる取組を推進します。	
・横浜の農の魅力を発信するため、「横浜農場」を活用したプロモーションを行います。また、農体験や農に親しむことのできる取組の情報を一元的に提供するウェブサイトの構築等を進めます。	
 (2) 市民や企業と連携した地産地消の展開事業	14,466 千円(10,266 千円)
ア 地産地消を広げる人材の育成・支援	4,416 千円(6,366 千円)
・地産地消を広げるはまふうどコンシェルジュの育成講座を開催します。	
・直売を行う生産者やよこはま地産地消サポート店、はまふうどコンシェルジュ、地産地消に取り組む市民・企業等をつなげる交流会等を開催します。	
イ 市民や企業等との連携	10,050 千円(3,900 千円)
・生産者や企業等のニーズを集約し、両者のニーズをマッチングすることで、地産地消を広げます。	
市民や企業等との連携：15 件	
・市内の中小企業等を対象に、地産地消に関するビジネスプランを策定するための講座を開催します。また、補助対象に選定された事業の開始に係る経費の補助を実施します。	
・小学校の給食メニューにおける市内産農産物の利用促進や食育の推進を図るため、企業等と連携して学校給食での市内産農産物の一斉供給や小学生を対象とした料理コンクールを開催します。	
料理コンクールの開催：1 回	

(6)	緑化推進費 (横浜みどり税非充当) 1款 2項 3目	本年度	前年度	差引	本年度財源内訳			
					国・県	市債	その他	一般
		千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
		586,650	505,400	81,250	3,000	3,000	—	580,650

緑があふれる都市で暮らす豊かさを、市民が「実感」できるよう、取組を推進します。

公有地においては、公共施設から率先して、質の高い緑を創出し、民有地においては、多くの市民の目にふれる場所でシンボル的な緑の創出に取り組みます。

また、市民の身近な場所で、緑や花に親しむきっかけづくりを推進します。

1 市民が実感できる緑や花の創出・育成

(1) まちなかでの緑の創出・育成事業

ア シンボル的な緑の創出・育成

各区の主要な公共施設・公有地において、緑を充実させる取組を推進します。

イ 公開性のある緑空間の創出支援

多くの人が訪れる場所における、公開性のある緑化などを行う市民・事業者に対し、その費用の一部を助成します。

ウ 建築物緑化保全契約の締結

緑の環境をつくり育てる条例や緑化地域制度等に定める基準以上の緑化を行い、保全することに対し、建築物所有者（管理者）の建築物の敷地に対する固定資産税・都市計画税を軽減します。

エ 名木古木の保存

地域住民に古くから町の象徴として親しまれ、故事、来歴等のある樹木を保存すべき

樹木として指定します。また、指定木の維持管理に必要な費用の一部を助成します。

2 ガーデンシティ横浜の更なる推進

(1) 緑や花があふれる地域づくり

ア 地域に根差した緑や花の楽しみづくり

緑や花に親しむ市民の盛り上がりを醸成していくため、地域をはじめとする多様な主体と連携した緑や花に関するイベントの開催や、緑や花を育む活動の支援など、地域に根差した各区での取組やそれを担う人材育成等を推進します。また、地区センター等の地域に身近な公共施設・公有地において、緑を充実させる取組を推進し、良好に育成します。

イ 人生記念樹の配布

人生の節目の記念に希望した市民を対象に苗木を無料配布することで、市民が緑に対する愛着を深め、植樹することにより都市緑化の推進に寄与します。

(2) 子どもを育む空間での緑の創出・育成事業

ア 保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出・育成

・緑の創出（公立）：10か所（1款1項3目で民間保育園、幼稚園、小中学校10か所、計20か所）

・芝生等の維持管理に対する支援

(3) 緑や花による魅力・賑わいの創出・育成事業

ア 都心臨海部等の緑花による魅力ある空間づくり

山下公園などの都心臨海部やガーデンネックレス横浜の会場となっている里山ガーデン（よこはま動物園ズーラシア隣接）など、多くの市民が訪れる場所で、観光資源となっている公園や港湾緑地、街路樹、文化施設などの公共空間を相互に連携させ、地域や施設の特性に合わせた季節感ある緑や花による場づくりを集中的に展開します。

また、いつ訪れても緑や花で彩られた魅力ある街を目指し創出した質の高い緑花を良好に育てます。

(7)	広報推進費 (横浜みどり税非充当) 1款2項4目	本年度	前年度	差引	本年度財源内訳			
					国・県	市債	その他	一般
		千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
		15,378	15,135	243	—	—	—	15,378

横浜みどりアップ計画の取組の内容や実績について、より多くの市民・事業者の皆様に理解されるとともに、緑を楽しみ、緑に関わる活動に参加していただけるよう、広報媒体の特性を生かし、効果的な情報発信を進めます。

1 市民の理解を広げる広報の展開事業 15,378千円(15,135千円)

横浜みどりアップ計画の取組と横浜みどり税について、各種メディア等を活用した広報を行います。

- ・広報よこはま等の広報紙への記事掲載や実績報告書の概要版リーフレットの市内配布
- ・マスコットキャラクターを活用した広報動画等のSNS発信や交通広告
- ・イベントへの出展、広報
- ・事業実施箇所での表示
- ・横浜市の緑の取組に関するアンケート調査

(8)	みどり基金積立金 1款3項1目	本年度	前年度	差引	本年度財源内訳			
					国・県	市債	その他	一般
		千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
		2,000	2,000	—	—	—	2,000	—

1 みどり基金積立金 2,000千円(2,000千円)

横浜市みどり基金の運用から生ずる収益を基金に積み立てます。

(9)	元金 1款4項1目	本年度	前年度	差引	本年度財源内訳			
					国・県	市債	その他	一般
		千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
		1,997,594	2,049,601	△52,007	—	—	—	1,997,594

1 市債金会計繰出金 1,997,594千円(2,049,601千円)

みどり保全創造事業のために発行した市債の元金を市債金会計に繰り出します。

(10)	利子 1款4項2目	本年度 千円 284,661	前年度 千円 261,033	差引 千円 23,628	本年度財源内訳			
					国・県	市債	その他	一般
					千円	千円	千円	千円

1 市債金会計繰出金

284,661 千円(261,033 千円)

みどり保全創造事業のために発行した市債の利子を市債金会計に繰り出します。

(11)	公債諸費 1款4項3目	本年度 千円 39,615	前年度 千円 44,387	差引 千円 △4,772	本年度財源内訳			
					国・県	市債	その他	一般
					千円	千円	千円	千円

1 市債金会計繰出金

39,615 千円(44,387 千円)

みどり保全創造事業のために発行した市債の発行手数料等を市債金会計に繰り出します。

(12)	予備費 1款5項1目	本年度 千円 1,000	前年度 千円 1,000	差引 千円 —	本年度財源内訳			
					国・県	市債	その他	一般
					千円	千円	千円	千円

1 予備費

1,000 千円(1,000 千円)

みどり保全創造事業費会計の予備費を計上します。